

医学科教育学修プログラム

令和8年度 前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

医学科コンピテンス・コンピテンシーマトリックス表

凡例	高度 Advanced		4年																				臨床実習前の到達度	臨床実習Ⅰα	臨床実習Ⅰβ	臨床実習Ⅱ	卒業時の到達度	
	A	B	法医学	社会医学 チュートリアル・実習	皮膚科学	耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学	産科学	臨床成長・発達学	臨床感染症学	臨床腫瘍学	総合感染症学・実習	臨床腫瘍学	免疫・アレルギー	老年医学	麻酔科学	救急医学	医療情報学	PBLチュートリアル	臨床実習入門	地域医療体験	臨床実習入門	臨床地域医療学						臨床医学特論
	応用 Applied	C																										
	基礎 Basic	D																										
	E																											
	F																											

Ⅰ 倫理・プロフェッショナリズム																											
・責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。 ・患者の利益を確保する患者中心の医療を提供し、実践できる。 ・生活にわり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。																											
1 医の倫理および生命倫理を理解して、適切に行動または判断できる。	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	E	B	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
2 利益相反等、研究倫理に関わる問題を理解して、適切に行動または判断できる。	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	E	E	C	B	B	B	A	A	
3 患者や家族のプライバシーに配慮し、守秘義務を厳守することができる。	C	B	F	F	F	F	F	C	C	F	F	C	C	F	C	C	F	B	C	C	C	C	B	A	A	A	A
4 患者中心の医療について理解し、実践できる。	E	C	F	F	F	F	F	F	E	C	F	E	F	E	C	E	B	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
5 内発的動機的重要性を理解して自己学習し、医療の知識、技能、態度を継続向上することができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	B	F	C	C	C	C	B	B	B	A	A
6 社会的に求められる医師像について討論し、目指す医師像を明確にすることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	C	C	C	C	C	B	B	B	A	A
7 社会的使命を果たすため、信頼できる行動をとることができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	E	C	F	E	F	E	C	E	B	C	C	C	C	B	A	A	A	A
8 患者や家族にはさまざまな価値観があるとを認識し、受け容れることができる。	E	C	F	F	F	F	F	F	C	C	C	F	C	C	F	B	C	C	C	C	C	C	B	B	B	A	A
9 同僚や後輩との間で、診療に関する知識や技能を教えあつて共有できる。	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	C	E	E	E	E	B	B	B	A	A
10 様々なキャリアの医師と交流して、主体的に自らのキャリアについて考えることができる。	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	B	E	E	E	E	B	B	B	A	A	
Ⅱ コミュニケーション																											
・思いやりや心や共感の理解力といったヒューマンコミュニケーション能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。 ・障害者やコミュニケーション障り、地域フィールドの中でコミュニケーションしうる能力を実践的に修得して、医療現場等で応用できる。 ・情報技術を修得して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。																											
1 患者や患者家族とコミュニケーションを通じて、良好な関係を築くことができる。	F	B	F	F	F	F	F	F	E	C	F	F	F	D	C	F	B	B	C	C	F	B	B	B	A	A	
2 医療チームのメンバーとコミュニケーションを通じて、連携を図ることができる。	F	C	F	F	F	F	F	E	E	F	F	F	F	D	C	E	B	C	C	F	F	B	B	B	A	A	
3 障害患者などの障害者と手話等でコミュニケーションをとって、円滑な診療をサポートすることができる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	C	F	F	F	F	B	B	B	A	A	
4 地域フィールドの中で、地域住民、行政関係者、医療関係者らとコミュニケーションをとり、社会性を身につけ良好な関係を築くことができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	B	B	C	C	F	B	B	B	A	A	
5 安全かつ有効に情報ネットワークを活用してコミュニケーションを取ったり、情報を収集したりできる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	C	C	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
Ⅲ チーム医療																											
・他の医療従事者の役割を理解し、連携してチーム医療を行う能力とともに、医師としてリーダーシップを発揮してチームビルディングする能力を修得し、実践できる。																											
1 医療チームの中で役割を担い、適切に相談・報告・連携を行うことができる。	F	B	F	F	F	F	F	E	F	F	F	F	F	D	C	F	C	F	F	F	F	B	B	B	A	A	
2 他の医療専門職を目指す学生と交流し、それぞれに異なる価値観があることを認識し、受け容れることができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	F	C	F	F	F	F	C	A	A	A	A	
3 他の医療専門職との連携を実践できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	F	C	C	C	F	F	C	B	B	B	A	A
Ⅳ 医学の知識																											
・最新の基礎科学、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を修得して、応用できる。 ・医療安全の基礎を学び、予防と対策を講じることができる。																											
1 物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用できる。	D	F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	E	B	D	D	D	D	B	B	B	A	A	
2 人体の正常構造と機能や生命現象に関する知識を修得して、病態の理解に応用できる。	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	D	D	D	B	B	B	A	A	
3 人体に関する正常および病態の診断と診療に活用できる。	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	B	B	D	D	D	B	B	B	A	A	
4 診療に関わる基本的知識と技能を修得して、臨床実習に実践・応用できる。	F	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	B	B	D	D	D	B	B	B	A	A	
5 ガイドラインや論文の情報を活用して、科学的根拠に基づき医療（EBM）を実践できる。	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	B	B	E	D	D	D	B	B	B	A	A	
6 疫学、予防、保健、福祉、医療経済といった医療の社会性に関する知識を修得して、地域で応用できる。	D	B	F	F	F	F	E	E	E	E	D	E	D	C	F	B	B	D	D	D	B	B	B	B	A	A	
7 医療安全の知識を修得して、患者や医療従事者起こる医療上の事故及び医療関連感染症を防ぐことができる。	D	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	F	B	E	D	D	D	B	A	A	A	A	A	
Ⅴ 診療の実践																											
・診療に必要な症状・病態について理解するとともに、基本的な診療知識と診療技能を用いて医療面接および身体診察を行い、得られた情報をもとに臨床診断を行い、治療計画を立案することができる。 ・総合的診療および全人的医療の能力を修得し、実践できる。																											
1 早期から医療従事者としてのモチベーションを高めて実践的に示すことができる。	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	B	E	E	E	C	B	B	B	A	A		
2 適切な医療面接で患者の病歴を正しく聴取して整理できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	D	F	B	B	C	F	B	B	B	A	A		
3 身体診察を適切に行って全身状態や身体各部の所見をとり、病状を判断できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	B	B	C	F	B	B	B	A	A			
4 病歴や身体診察の結果から必要な検査を選択し、検査結果を解釈できる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	B	B	C	C	C	B	B	B	A	A		
5 病歴、診察所見、検査結果等の情報を整理して臨床推論を行い、疾患を診断することができる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	B	B	C	C	B	B	B	A	A		
6 適切な治療計画を立案することができる。	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	C	B	C	C	C	C	B	B	B	A	A	
7 診療録や医療文書を適切に作成できる。	C	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	B	E	E	F	F	B	B	B	A	A		
8 病状説明や患者教育に参加できる。	E	C	F	F	F	F	F	F	C	F	F	F	D	D	F	B	B	C	C	C	B	B	B	A	A		
9 カンファレンスなどで臨床実習の成果を発表、討議できる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	B	F	F	F	F	B	B	B	B	A	A		
Ⅵ 知的探究と創造性																											
・質に知的探究心を持ち、基礎と臨床の連携で調査されるリサーチマインドを身につけるとともに、実践的に医学研究に応用できる。 ・イノベーションの重要性を理解して、実践できる。																											
1 医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性を理解できる。	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	B	C	E	C	B	B	B	A	A			
2 医学的・科学的に意義のある研究課題を見出し、研究に取り組むことができる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	B	F	F	F	B	B	B	A	A			
3 データを解析し、論理的に発表・討論してプレゼンテーションできる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	C	F	F	F	D	B	B	B	A	A			
4 臨想的に意義のある研究課題を見出し、トランスレーショナルリサーチの可能性について探索できる。	F	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	B	F	F	C	C	B	B	B	A	A			
5 創造性豊かな医療人となる基礎を身につけて、診療や医学研究に応用できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F	E	C	C	B	B	B	A	A		
6 医療における発明の重要性を理解して、イノベーションを実践できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	F	F	F	E	C	C	B	B	B	A	A		
Ⅶ 国際性																											
・グローバル化に対応できる語学能力と国際感覚を身につけて、応用できる。																											
1 英語を母国語とする人と対話ができる。	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	E	E	E	B			
2 国際的な視点で医学研究の情報を収集し、議論して発信できる。	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	E	F	F	F	F	C	B	B	A	A			
3 診療英会話を修得して、実践できる。	F	F	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	F	E	E	F	E	E	C	E	E	E	B			
4 国際交流に関心をもち、多様な異文化を理解できる。	E	F	F	F	F	F	E	E	E	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	B	B	B	A	A			
Ⅷ 地域医療																											
・地域社会を大切に思い、地域における医療のニーズを認識したうえで、地域医療に貢献できる。																											
1 地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C	B	A			
2 地域医療に必要なプライマリケアの考え方や技能を修得し、基礎的事項を実践できる。	F	C	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	E	D	D	C	D	C	C	B	A				
3 地域や地域で暮らす人を尊重し、コミュニティと連携して地域医療の向上に貢献できる。	F	B	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	E	E	E	D	D	D	D	D	D	B	A				

医学科 4 年次目次（前期）

区分		授業科目名	科目責任者			
必修	専門科目	法医学	飯野守男	:	1	～ 3
必修	専門科目	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	藤原和典	:	4	～ 5
必修	専門科目	皮膚科学	吉田雄一	:	6	～ 7
必修	専門科目	産科学	谷口文紀	:	8	～ 9
必修	専門科目	臨床成長・発達学	難波範行	:	10	～ 13
必修	専門科目	臨床感染症学	吉藤 歩	:	14	～ 16
必修	専門科目	総合感染症学・実習	吉藤 歩	:	17	～ 18
必修	専門科目	臨床腫瘍学	小谷昌広	:	19	～ 20
必修	専門科目	免疫・アレルギー	山崎 章	:	21	～ 22
必修	専門科目	麻酔科学	大槻明広	:	23	～ 26
必修	専門科目	救急医学	本間正人	:	27	～ 29
必修	専門科目	地域医療体験	孫 大輔	:	30	～ 32
必修	専門科目	PBLチュートリアル	植木 賢	:	33	～ 38
必修	専門科目	臨床地域医療学	孫 大輔	:	39	～ 41
必修	専門科目	社会医学チュートリアル・実習（通年）	尾崎米厚	:	42	～ 46
必修	専門科目	老年医学（通年）	花島律子	:	47	～ 48
必修	専門科目	医療情報学（通年）	寺本 圭	:	49	～ 51
必修	専門科目	臨床医学特論（通年）	今村武史	:	52	～ 54
必修	専門科目	臨床実習入門（通年）	植木 賢	:	55	～ 58

科目コード／Subject Code	M7208052
ナンバリング／Numbering	MMSOM3001
科目名／Subject Name	法医学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	飯野 守男, 中留 真人
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	火 2, 木 2
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	飯野 守男、中留真人（法医学、総合研究棟7階）、水沼直樹（非常勤、弁護士）、山本琢磨（非常勤、兵庫医科大学法医学）、西口美紀（非常勤、兵庫医科大学法医学）
オフィスアワー／Office Hours	飯野 守男（木曜日 17時～18時）（法医学、総合研究棟7階） 中留 真人（水曜日 3 時限）（法医学、総合研究棟7階）
担当教員への連絡方法／Contact Details	iino@tottori-u.ac.jp（飯野） nakatome@tottori-u.ac.jp（中留） 研究室TEL:0859-38-6123
授業の目的と概要／Course Description and Outline	死因究明制度、医事に関する法律を学ぶとともに死因診断の方法とその意義について学ぶ。
キーワード／Keywords	法医学、法歯学、死因究明制度、医事法、突然死、内因性急死、SIDS、SUDI、死亡時画像診断、大規模災害、DVI
到達目標／Objectives	死因究明制度、医事に関する法律を学び医師の法的義務について説明することができる。 死因と死因の種類について説明することができる。 死亡診断書（死体検案書）を正しく記載することができる。
他の科目との関連／Prerequisite	内因性急死：循環器内科、呼吸器内科、消化器内科 外傷死：救急、脳神経外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科 小児死亡：小児科、解剖学 妊娠婦死亡：産婦人科 医事に関する法律、異状死の届出、死亡診断書作成：公衆衛生 脳死：救急、脳神経外科、公衆衛生 白骨の鑑定：解剖学、歯科口腔外科学、整形外科
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	「標準法医学 第8版」池田典昭編、医学書院。 「死体検案ハンドブック第4版」近藤稔和編、金芳堂。 「歯科法医学 第2版」永末書店。 参考資料：「死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル」（厚労省HP）
授業の形式／Classwork	講義
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	定期試験 80%、レポート 20%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	講義内容はmanabaで事前に配付するが、実務症例については講義のみで提示する。 最終回は死亡診断書（死体検案書）作成演習を実施する（定規、鉛筆、消しゴム、赤ペンを持参）。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の法医学者（医師）、法歯学者（歯科医師）、法中毒学者、弁護士がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/20(月)3時限] 【323講義室】	アクティブラーニング(1) 【キーワード】症例提示による病態の理解と薬物治療	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習する。	【担当者】市原 克則(薬理学・薬物療法学)／対面講義
2[4/20(月)4時限] 【323講義室】	アクティブラーニング(2) 【キーワード】症例提示による病態の理解と薬物治療	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習すること。	【担当者】市原 克則(薬理学・薬物療法学)／対面講義
3[4/22(水)3時限] 【323講義室】	薬理遺伝学と時間薬理学 【キーワード】時間薬理学、薬理遺伝学、遺伝子多型	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習する。	【担当者】長田 佳子(薬理学・薬物療法学)／対面講義
4[4/22(水)4時限] 【323講義室】	脳神経血管内治療 【キーワード】脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈ステント、血栓回収	解剖の教科書を読んで脳血管について予習する。復習は講義での配布資料と教科書を用いて実施すること。	【担当者】坂本 誠(脳神経外科学)／対面講義
5[4/27(月)3時限] 【323講義室】	臨床薬物動態とその予測 【キーワード】薬物動態学、薬物の蓄積	授業キーワードを参考に、教科書(南光堂出版・臨床薬物動態学など)を用いて予習する。復習は講義配布資料と教科書を用いて実施すること。	【担当者】藤吉 正哉(薬剤部)／対面講義
6[4/27(月)4時限] 【323講義室】	放射線腫瘍学総論 【キーワード】高精度放射線治療、小線源治療、放射線生物学	放射線に関する基礎から、その悪性腫瘍に対する効果を学習するのに加え、最新の放射線治療技術について紹介する。	【担当者】吉田 賢史(放射線治療科)／対面講義
7[4/30(木)3時限] 【112講義室】	病態時における薬物療法 【キーワード】妊産婦、肝障害、腎障害、心不全時の薬物治療	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習する。	【担当者】長田 佳子(薬理学・薬物療法学)／対面講義
8[4/30(木)4時限] 【112講義室】	ショックと輸液療法 【キーワード】ショック、止血、輸血法、合併症、水出納、電解質、輸液法、栄養	授業キーワードを参考に、教科書を用いて予習する。復習は講義配布資料と教科書を用いて実施すること。	【担当者】窪内 康晃(胸部外科診療科群)／対面講義
9[5/1(金)1時限] 【323講義室】	病態下における薬物動態と薬物相互作用 【キーワード】TDM、腎機能低下、薬物相互作用	授業キーワードを参考に、教科書(南光堂出版・臨床薬物動態学など)を用いて予習する。復習は講義配布資料と教科書を用いて実施すること。	【担当者】藤吉 正哉(薬剤部)／対面講義
10[5/7(木)3時限] 【112講義室】	外科的基本手技 【キーワード】切開、縫合、止血、ドレナージ	医学書院 標準外科学 を復習と確認に使用することを薦める。	【担当者】藤原 義之(第一外科診療科群)／対面講義
11[5/7(木)4時限] 【112講義室】	悪性腫瘍の放射線治療(1) 【キーワード】婦人科悪性腫瘍・泌尿器悪性腫瘍、子宮頸癌、前立腺癌、乳癌	骨盤内腫瘍に対する放射線治療(特に子宮頸癌、前立腺癌)について学習する。主に小線源治療について解説する。加えて乳癌について述べる。	【担当者】吉田 賢史(放射線治療科)／対面講義
12[5/8(金)3時限] 【323講義室】	糖尿病・肥満症の薬物療法 【キーワード】糖尿病、肥満症、インスリン抵抗性、インクレチン製剤	授業キーワードを参考に教科書(例：文光堂出版・臨床薬理学など)を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習する。	【担当者】大倉 毅(内分泌・代謝内科)／対面講義
13[5/8(金)4時限] 【323講義室】	内分泌疾患の薬物治療 【キーワード】下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎疾患、薬物治療	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習する。	【担当者】松澤 和彦(薬理学・薬物療法学)／対面講義
14[5/11(月)3時限] 【323講義室】	高齢者の薬物治療とポリファーマシー(1) 【キーワード】高齢者の薬物治療、ポリファーマシー	授業キーワードを参考に、教科書(例：文光堂出版・臨床薬理学など)を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習する。	【担当者】今村 武史(薬理学・薬物療法学)／対面講義
15[5/11(月)4時限] 【323講義室】	高齢者の薬物治療とポリファーマシー(2) 【キーワード】高齢者の薬物治療、ポリファーマシー	授業キーワードを参考に、教科書(例：文光堂出版・臨床薬理学など)を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習すること。	【担当者】今村 武史(薬理学・薬物療法学)／対面講義
16[5/12(火)3時限] 【323講義室】	周術期管理、栄養管理 【キーワード】術後合併症、術後管理	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】山本 学(第一外科診療科群)／対面講義
17[5/12(火)4時限] 【323講義室】	脳神経外科の手術 【キーワード】開頭術、経鼻の手術、顕微鏡手術、神経内視鏡手術	授業キーワードを参考に、教科書(解剖学アトラスなど)を用いて予習する。復習は講義配布資料と教科書を用いて実施すること。	【担当者】黒崎 雅道(脳神経外科学)／対面講義
18[5/13(水)3時限] 【323講義室】	悪性腫瘍の放射線治療(2) 【キーワード】呼吸器悪性腫瘍、消化管悪性腫瘍、肝胆膵悪性腫瘍	授業キーワードを参考に、教科書(例：文光堂出版・臨床薬理学など)を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習する。	【担当者】北川 寛(放射線治療科)／対面講義
19[5/13(水)4時限] 【323講義室】	悪性腫瘍の放射線治療(3) 【キーワード】緩和照射、緊急照射、小児がん、良性疾患など	緩和的放射線治療を中心に、根治照射までがん治療における放射線治療の多岐にわたる役割を理解する。	【担当者】吉田 賢史(放射線治療科)／対面講義
20[5/14(木)3時限] 【112講義室】	経皮的酸素飽和度モニターと、動脈血ガス分析、呼吸不全とその治療 【キーワード】経皮的酸素飽和度モニター、動脈血ガス分析、酸素療法、人工呼吸管理	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習する。	【担当者】南 ゆかり(高次集中治療部)／対面講義
21[5/14(木)4時限] 【112講義室】	服薬アドヒアランスと処方箋の書き方 【キーワード】処方箋記載、服薬の基本、薬剤選択法	授業キーワードを参考に予習する。講義配布資料を用いて復習すること。	【担当者】長田 佳子(薬理学・薬物療法学)／対面講義

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
22[5/19(火)3時限] 【 323講義室】	悪性腫瘍の放射線治療（４）／【キーワード】中枢神経悪性腫瘍、頭頸部悪性腫瘍、悪性リンパ腫	授業キーワードを参考に、教科書（例：文光堂出版・臨床薬理学など）を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習する。	【担当者】北川 寛（放射線治療科）／対面講義
23[5/19(火)4時限] 【 323講義室】	新規治療モダリティの最前線と臨床薬理的視点／【キーワード】抗体医療、細胞治療、遺伝子治療・RNA治療、PROTACs、ナノ医薬、個別化医療、作用機序、臨床応用	【予習】抗体医療、細胞治療、遺伝子・RNA治療、PROTACs、ナノ医薬の基礎と臨床応用を最新文献で予習する。【復習】講義後は、これら治療法の内容を整理し、理解度を確認する。	【担当者】長田 佳子（薬理学・薬物療法学）／対面講義
24[5/20(水)3時限] 【 323講義室】	アクティブラーニング（３）／【キーワード】薬物治療、Case & Communicationアプローチ	事前に配布する講義資料を用いて予習する。講義内容をまとめて復習すること。	【担当者】市原 克則（薬理学・薬物療法学）／対面講義
25[5/20(水)4時限] 【 323講義室】	アクティブラーニング（４）／【キーワード】薬物治療、Case & Communicationアプローチ	事前に配布する講義資料を用いて予習する。講義内容をまとめて復習する。	【担当者】柳田 俊彦（薬理学・薬物療法学）（非常勤講師）／対面講義
26[5/20(金)5時限] 【 323講義室】	アクティブラーニング（５）／【キーワード】薬物治療、Case & Communicationアプローチ	事前に配布する講義資料を用いて予習する。講義内容をまとめて復習すること。	【担当者】柳田 俊彦（薬理学・薬物療法学）（非常勤講師）／対面講義
27[5/26(火)3時限] 【 323講義室】	幹細胞生物学と再生医療（１）／【キーワード】幹細胞、再生医療、遺伝子治療	幹細胞の種類（胚性幹細胞・体性幹細胞・ES細胞・iPS細胞）の違いを予習しておく。講義内容のポイントまとめ復習すること。	【担当者】難波 大輔（再生医療学）／対面講義
28[5/26(火)4時限] 【 323講義室】	幹細胞生物学と再生医療（２）／【キーワード】幹細胞、再生医療、遺伝子治療	幹細胞の種類（胚性幹細胞・体性幹細胞・ES細胞・iPS細胞）の違いを予習しておく。講義内容のポイントまとめ復習すること。	【担当者】難波 大輔（再生医療学）／対面講義
29[5/27(水)3時限] 【 323講義室】	薬物依存と治療（１）／【キーワード】薬物依存、濫用、ニコチン依存症、ドーピング	授業キーワードを参考に、教科書（例：文光堂出版・臨床薬理学など）を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習する。	【担当者】今村 武史（薬理学・薬物療法学）／対面講義
30[5/27(水)4時限] 【 323講義室】	薬物依存と治療（２）／【キーワード】薬物依存、濫用、ニコチン依存症、ドーピング	授業キーワードを参考に、教科書（例：文光堂出版・臨床薬理学など）を用いて予習する。講義配布資料と教科書を用いて復習すること。	【担当者】今村 武史（薬理学・薬物療法学）／対面講義

科目コード／Subject Code	M7208056
ナンバリング／Numbering	MMCLM3014
科目名／Subject Name	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	藤原 和典, 八木 俊路朗, 藤井 信行, 小山 哲史, 堂西 亮平, 平 憲吉郎, 矢間 敬章, 武田 真紀子
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	藤原 和典（耳鼻咽喉・頭頸部外科学） 第二中央診療棟7階
オフィスアワー／Office Hours	なし
担当教員への連絡方法／Contact Details	0859-38-6627（医局）へ連絡ください。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	頭頸部腫瘍、鼻・副鼻腔疾患、内耳疾患、中耳疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、喉頭疾患について解説を行う。
キーワード／Keywords	頭頸部腫瘍、鼻・副鼻腔疾患、内耳疾患、中耳疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、喉頭疾患
到達目標／Objectives	頭頸部腫瘍、鼻・副鼻腔疾患、内耳疾患、中耳疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、喉頭疾患について、診断と治療の要点を概説できる。
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	眼科学 疾患とその基礎 改訂版（メディカル葵、大橋裕一ほか）、現代の眼科学（改訂第11版）（金原出版、所 敬・吉田 晃敏・谷原 秀信）、STEP 耳鼻咽喉科（高橋秀樹、海馬書房）、耳鼻咽喉科学（金芳堂、久保武・田村学・猪原秀典）、イラスト耳鼻咽喉科（文光堂、森満保）、口腔内科学（飛鳥出版、尾崎登喜雄、2008）、口腔外科学（医歯薬出版、白砂兼光・古郷幹彦、2010）、標準形成外科学 第6版（医学書院、平林慎一・鈴木茂彦）
授業の形式／Classwork	講義形式
成績の評価方法と基準／Assessment	定期試験 100%、
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	授業内容を理解し、復習をして下さい。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	現代的教養（論理的な課題探求と解決力）
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験／Work experience	無
実務経験と授業科目の関係性／Relationship between the work experience and the course	なし

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/9(木)1時限] 【431講義室】	口腔顎顔面外傷／【キーワード】上顎骨・下顎骨・頬骨骨折、軟部損傷	当該部分の教科書で予習および復習をしておくこと。講義後もポイントをノート、レポート等にまとめること(1時間)。	【担当者】歯科口腔外科・藤井 信行／対面
2[4/16(木)1時限] 【431講義室】	内耳疾患／【キーワード】内耳奇形、感音難聴、薬剤性難聴、創音声難聴、補聴器、人工内耳	内耳疾患、感音難聴の病態・診断および治療を説明できるように復習する。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・矢間 敬章／対面
3[4月16日(木)5限] 【323講義室】	鼻・副鼻腔疾患1／【キーワード】鼻出血、嗅覚障害、ガングリオン肉芽腫症、副鼻腔気管支症候群	救急疾患としての鼻出血への対処法を出血部位別にまとめる。鼻副鼻腔炎の臨床症状、診断法、鑑別診断における注意点をまとめる。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・武田 真紀子／対面
4[4/23(木)1時限] 【431講義室】	めまい疾患／【キーワード】メニエル病、前庭神経炎、聴神経腫瘍、外リンパ漏、椎骨脳底動脈循環不全、リンパ管症候群	当該授業範囲の教科書をよむこと。授業で示すポイントを中心に復習すること。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・矢間 敬章／対面
5[4/30(木)1時限] 【431講義室】	聴力検査、平衡機能検査／【キーワード】標準純音聴力検査、語音明瞭度検査、幼児聴力検査、注視・頭位眼振検査、温度眼振検査、視標追跡検査、視運動性眼振検査、電気眼振計	聴力検査、平衡機能検査の目的、方法、結果の判定を説明できるように復習する。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・矢間 敬章／対面
6[4/30(木)5時限] 【431講義室】	鼻・副鼻腔疾患2／【キーワード】慢性副鼻腔炎、真菌性上顎洞炎、上顎癌、若年性鼻咽腔血管線維腫	予習：鼻副鼻腔の解剖、復習：炎症、良性、悪性疾患の鑑別ができるようにする。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・武田 真紀子／対面
7[5/7(木)1時限] 【431講義室】	中耳疾患／【キーワード】急性中耳炎、慢性中耳炎、滲出性中耳炎、真珠腫性中耳炎、伝音性難聴	授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(1.5時間)	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・矢間 敬章／対面
8[5/11(月)5時限] 【112講義室】	頭頸部腫瘍1／【キーワード】鼻・副鼻腔悪性腫瘍、咽頭悪性腫瘍、喉頭癌、頸部リンパ節腫脹	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・藤原 和典／対面
9[5/18(月)5時限] 【112講義室】	頭頸部再建外科／【キーワード】植皮、有茎皮弁、遊離皮弁、筋皮弁、遊離空腸、微小血管吻合	予習：局所皮弁、有茎皮弁、遊離皮弁の違いを学習する。復習：各種皮弁の栄養血管を確認する。遊離皮弁を用いた再建の適応を確認する。	【担当者】形成外科・八木 俊路朗／対面
10[5/21(木)1時限] 【431講義室】	口腔顎顔面領域の先天異常／【キーワード】口唇裂、口蓋裂、顔裂	当該部分の教科書をよく読み予習しておくこと。講義後も理解を深めるために概要やポイントをノートにまとめ復習すること(1時間)。	【担当者】歯科口腔外科・藤井 信行／対面
11[5/25(月)5時限] 【112講義室】	嚥下障害／【キーワード】内視鏡下嚥下機能検査、嚥下造影検査、嚥下改善手術、誤嚥防止術	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】頭頸部診療科群・平 憲吉郎／対面
12[6/29(月)3時限] 【431講義室】	甲状腺・副甲状腺疾患／【キーワード】甲状腺機能亢進症・低下症、甲状腺結節、甲状腺癌の検査・治療について	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をレポート等にまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】頭頸部診療科群・堂西 亮平／対面
13[7/6(月)1時限] 【431講義室】	耳鼻咽喉科の救急疾患(外傷、気管切開など)／【キーワード】気管切開、気道異物、咽頭異物、食道異物	講義前は当該授業部分の教科書を一読し、講義後は疑問点を見つけ、復習に励むこと。	【担当者】頭頸部診療科群・堂西 亮平／対面
14[7/6(月)3時限] 【431講義室】	頭頸部腫瘍2／【キーワード】鼻・副鼻腔悪性腫瘍、咽頭悪性腫瘍、喉頭癌、頸部リンパ節腫脹	講義内容の内、赤字や下線部分についての復習を中心に行ってください。	【担当者】頭頸部診療科群・小山 哲史／対面
15[7/13(月)3時限] 【431講義室】	喉頭疾患／【キーワード】嗄声、声帯ポリープ、浮腫状声帯、反回神経麻痺、喉頭異常感症、逆流性食道炎、急性喉頭蓋炎	喉頭の生理、解剖、機能を予習しておく。復習は授業でやったこと、特に重要と話したところを重点的にすること。	【担当者】頭頸部診療科群・平 憲吉郎／対面

科目コード／Subject Code	M7208057
ナンバリング／Numbering	MMCLM3015
科目名／Subject Name	皮膚科学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	吉田 雄一, 足立 孝司, 山田 七子, 江原 由布子, 谷 直実, 森 裕美, 池田 彩乃
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	第二中央診療棟5F 皮膚科事務室
オフィスアワー ．／Office Hours	月曜日～金曜日(10:00-16:00)
担当教員への連絡方法 ．／Contact Details	皮膚科事務室に連絡してください (E-mail推奨) E-mail: hifujimu@ml.med.tottori-u.ac.jp (件名に科目名、学生番号、氏名を記載すること) TEL: 0859-38-6597
授業の目的と概要 ．／Course Description and Outline	様々な皮膚疾患の病因、病態、治療法について学習し、皮膚科学について理解を深めことを目的とする
キーワード ．／Keywords	炎症性皮膚疾患、皮膚腫瘍、水疱症、膿疱症、皮膚感染症
到達目標 ．／Objectives	1) 炎症性疾患の原因、検査法について説明できる、2) 皮膚腫瘍について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる、3) 皮膚の感染性疾患について疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる
他の科目との関連 ．／Prerequisite	内科的な疾患の部分症状として皮膚症状が現れることがあります
教科書(テキスト)・参考書 ／Textbooks and Bibliography	標準皮膚科学(第11版)(医学書院、岩月啓氏、2020年2月)、皮膚病アトラス(第5版)(文光堂、西山茂夫、2004)
授業の形式 ．／Classwork	講義 100%
成績の評価方法と基準 ／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	講義内容はプリントとして講義時間に配布する。講義プリントや参考書を使って復習を中心に行うことを勧める
授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、人間力(自律性に基づく実行力)
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験 ．／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	医師免許を持つ教員は自らの臨床経験を活かし、各自の専門分野と関連づけながら講義を行う

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/7 (火)1時限] 431講義室】	母斑・母斑症／【キーワード】脂腺母斑、表皮母斑、神経線維腫症1型、結節性硬化症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・吉田雄一／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
2[4/14 (火)1時限] 431講義室】	悪性黒色腫、その他間葉系腫瘍／【キーワード】悪性黒色腫、間葉系腫瘍	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・吉田雄一／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
3[4/21 (火)1時限] 431講義室】	皮膚感染症(細菌・抗酸菌)／【キーワード】剥脱素、デスマグレイン、黄色ブドウ球菌、溶連菌、抗酸菌	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】卒後臨床 研修センター・山田 七子／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
4[4/28 (火)1時限] 431講義室】	薬疹・中毒疹／【キーワード】固定薬疹、ステイブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・足立孝司／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
5[5/12 (火)1時限] 431講義室】	皮膚感染症(真菌)／【キーワード】疥癬、白癬菌、カンジダ、マラセチア、スボロトリコーシス	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】卒後臨床 研修センター・山田 七子／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
6[5/19 (火)1時限] 431講義室】	皮膚腫瘍(上皮性悪性腫瘍)／【キーワード】日光角化症、有棘細胞癌、基底細胞上皮腫、Bowen病、乳房外Paget病、Merkel細胞癌	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科(非常勤講師)・清原 祥夫／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
7[5/26 (火)1時限] 431講義室】	角化症／【キーワード】尋常性乾癬、扁平苔癬、ジベルばら色秕糠疹、類乾癬	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・足立孝司／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
8[6/2 (火)1時限] 431講義室】	湿疹・皮膚炎(アレルギー性皮膚炎ふくむ)／【キーワード】湿疹三角、パッチテスト、一次刺激性、アレルギー性、アレルギー体質、貨幣状皮膚炎、湿潤性紅斑、脂漏性皮膚	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・谷直実／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
9[6/9 (火)1時限] 431講義室】	水疱症・膿疱症／【キーワード】棘融解、デスマグレイン、BP180、デスマソーム、ヘミデスマソーム、海綿状膿疱	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・谷直実／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
10[6/16 (火)1時限] 431講義室】	紅斑症・紅皮症／【キーワード】多形紅斑、結節性紅斑、硬結性紅斑、環状紅斑、スイート病	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・江原由布子／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
11[6/23 (火)1時限] 431講義室】	皮膚腫瘍(良性)／【キーワード】脂漏性角化症(Leser-Trelatを含む)、粉瘤、皮膚線維腫、ケロイド、毛細血管拡張性肉芽腫、グロムス腫瘍、色素性尋麻疹、毛細血管奇形、いちご状血管腫、Kasabach-Merritt症候群、海綿状血管腫、リンパ管腫	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・江原由布子／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
12[6/30 (火)1時限] 431講義室】	紫斑・血流障害・血管炎・光線過敏症／【キーワード】壊死性血管炎、アナフィラクトイド紫斑、血小板減少性紫斑病、DIC、特発性色素性紫斑、血栓性静脈炎、色素性乾皮症、種痘様水疱症、光線過敏症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・森裕美／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
13[7/7(火)1時限] 431講義室】	皮膚付属器疾患／【キーワード】円形脱毛症・男性型脱毛症・痤瘡・酒さ様皮膚炎	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・森裕美／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
14[7/14 (火)1時限] 431講義室】	皮膚感染症(ウイルス)／【キーワード】単純ヘルペス、帯状疱疹、尋常性疣贅	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・池田彩乃／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))
15[7/21 (火)1時限] 431講義室】	蕁麻疹・皮膚そう痒症・痒疹／【キーワード】蕁麻疹、膨疹、皮膚描記症、血管浮腫、皮膚そう痒症、痒疹、食物依存性運動誘発性アナフィラキシー	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義資料の重要事項を復習すること(各1時間)	【担当者】皮膚科・池田彩乃／(対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習))

科目コード／Subject Code	M7206096
ナンバリング／Numbering	MMCLM3016
科目名／Subject Name	産科学
英文科目名／Subject English Name	Obstetrics
担当教員／Teacher Name	谷口 文紀, 鈴木 康江, 柳樂 慶, 佐藤 絵理, 森山 真亜子, 東 幸弘, 原田 崇
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	金 1, 金 4
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	産科婦人科学分野
オフィスアワー /Office Hours	
担当教員への連絡方法 /Contact Details	原田 崇 (内線 6647 / PHS 87716)
授業の目的と概要 /Course Description and Outline	
キーワード /Keywords	妊娠反応、分娩予定日の決定法、超音波検査、BPS
到達目標 /Objectives	産科学の病因・病態ならびに治療法を理解する
他の科目との関連 /Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	病気が見える vol10 産科 MEDIC MEDIA
授業の形式 /Classwork	
成績の評価方法と基準 ／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 /Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
[4/3(金)1限] 【431】	妊娠の診断法／【キーワード】妊娠反応、分娩予定日の決定法、超音波検査、BPS	妊娠の診断法を説明できる。産科の超音波検査法の所見を説明できる。	【担当者】産科婦人科学・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[4/3(金)4限] 【431】	妊娠の経過／【キーワード】妊婦健診、妊娠の成立、早産、正常産、過期産	正常妊娠の経過を説明できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[4/10(金)1限] 【431】	妊娠に伴う母体変化／【キーワード】性器の変化、全身の変化、代謝の変化	妊娠に伴う身体的変化を概説できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[4/10(金)4限] 【431】	胎児・胎盤系の発達／【キーワード】受精、栄養胚葉、胎芽胚葉、卵膜、胎盤、臍帯、羊水	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。	【担当者】産科婦人科・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[4/17(金)1限] 【431】	異常妊娠（2）／【キーワード】妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群の病態・管理を説明できる。	【担当者】女性診療科群・佐藤 絵理／（対面可：対面、対面不可：）
[4/17(金)4限] 【431】	異常妊娠（1）／【キーワード】妊娠悪阻、流産、異所性妊娠、胎状奇胎	妊娠初期の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：対面、対面不可：）
[4/24(金)1限] 【431】	異常妊娠（4）／【キーワード】羊水過多、羊水過少、羊水塞栓症、巨大児、IUGR	羊水の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[4/24(金)4限] 【431】	異常妊娠（3）／【キーワード】早産、細菌性膣症、絨毛膜羊膜炎、前期破水、GBS	妊娠中期以後の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：パターン1遠隔（資料・課題学習）、対面不可：）
[5/1(金)1限] 【431】	妊娠合併症(1)／【キーワード】合併症妊娠（GDM、甲状腺機能異常、自己免疫疾患）	妊娠中の合併症を説明できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[5/1(金)4限] 【431】	異常妊娠(5)／【キーワード】多胎妊娠、TTTS、羊水塞栓症	妊娠中期以後の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：対面、対面不可：）
[5/15(金)1限] 【431】	胎児心拍数モニタリング／【キーワード】CTG、NST、fetal wellbeing、hPL、E3	分娩監視装置による検査法の意義と異常所見を説明できる。胎児心拍数図が判読できる。	【担当者】産科婦人科学・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[5/15(金)4限] 【431】	妊娠合併症(2)／【キーワード】合併症妊娠（呼吸器、血液疾患、婦人科疾患）、血液型不適合妊娠	妊娠中の合併症を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：対面、対面不可：）
[5/22(金)1限] 【431】	妊娠合併症(4)／【キーワード】胎児奇形、染色体異常、放射線被曝、薬の催奇性	妊娠中の合併症を説明できる。	【担当者】産科婦人科学・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[5/22(金)4限] 【431】	妊娠合併症(3)／【キーワード】母子感染症	妊娠中の合併症を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：対面、対面不可：）
[5/29(金)1限] 【431】	分娩の経過（1）／【キーワード】分娩の3要素、骨・軟産道、児頭の変形、陣痛、胎勢、胎位	正常分娩の経過を説明できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[5/29(金)4限] 【431】	分娩の経過（2）／【キーワード】分娩の前徴、分娩第1期、分娩第2期、分娩第3期、胎盤の剥離と娩出	正常分娩の経過を説明できる。	【担当者】女性診療科群・柳楽 慶／（対面可：対面、対面不可：）
[6/5(金)1限] 【431】	異常妊娠（6）／【キーワード】前置胎盤、常位胎盤早期剥離、HELLP、子癇	附属物の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・東 幸弘／（対面可：対面、対面不可：）
[6/12(金)1限] 【431】	異常分娩(1)／【キーワード】骨産道、CPD、軟産道強靱症、回旋異常	産道の異常を説明できる。	【担当者】女性診療科群・佐藤 絵理／（対面可：対面、対面不可：）
[6/19(金)1限] 【431】	異常分娩(2)／【キーワード】産科出血（子宮内反症、弛緩出血、癒着胎盤）、産道損傷	産科出血について説明できる。	【担当者】女性診療科群・東 幸弘／（対面可：対面、対面不可：）
[6/26(金)1限] 【431】	異常分娩(3)／【キーワード】微弱陣痛、過強陣痛、遷延分娩、陣痛促進剤、過期産	陣痛の異常を説明できる。	【担当者】産科婦人科学・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[7/3(金)1限] 【431】	産褥／【キーワード】子宮復古、悪露、乳汁分泌、子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎、血栓症	産褥の過程と異常産褥の病態を説明できる。乳房・乳腺の妊娠中と授乳期での変化を説明できる。	【担当者】女性診療科群・森山 真亜子／（対面可：対面、対面不可：）
[7/10(金)1限] 【431】	産科手術／【キーワード】帝王切開術、子宮頸管縫縮術、流産手術、骨盤位分娩、産科救急	産科手術を説明できる。	【担当者】産科婦人科学・原田 崇／（対面可：対面、対面不可：）
[7/17(金)1限] 【431】	産科学 特別講義／【キーワード】妊娠および分娩に関する最近話題、統計、関係法規	産科学と生殖医学の概要が理解できる。	【担当者】産科婦人科学（非常勤講師）・吉村 泰典／（対面可：対面、対面不可：）

科目コード／Subject Code	M7206093
ナンバリング／Numbering	MMCLM2005
科目名／Subject Name	臨床成長・発達学
英文科目名／Subject English Name	Clinical Medicine (Pediatrics)
担当教員／Teacher Name	難波 範行, 栗野 宏之, 前垣 義弘, 美野 陽一, 奥野 啓介, 宮原 史子, 山田 祐子, 中村 裕子, 上桙 仁志, 友森 あや, 倉信 奈緒美, 今本 彩, 藤本 正伸, 藤井 宏美, 福嶋 健志, 山口 由起子, 金井 創太郎, 吉野 豪, 清水 敬太, 太田 健人, 岡西 徹, 熊崎 健介, 細田 龍生
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	3.0
準備事項／Matter of Prepare	医学書院「標準小児科学 第9版」に基づき講義を行うので、予習復習に努めること。
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	周産期・小児医学教室（小児科医局） 難波 範行、今本彩
オフィスアワー／Office Hours	平日 9:00～17:00
担当教員への連絡方法／Contact Details	小児科医局 0859-38-6557
授業の目的と概要／Course Description and Outline	【目的】新生児から思春期までの成長発達や栄養代謝について理解する。内分泌・神経・消化器・膠原病・循環器・腎泌尿器・血液腫瘍等の疾患についての病態生理や診断・治療についての知識を習得する。 【概要】小児の発育発達、疾患について総合的にケアする能力を育成するための講義を行う。
キーワード／Keywords	発育の原則、成長に関係する因子、成長の評価
到達目標／Objectives	小児の成長と発達の基礎をふまえて、新生児期から思春期にみられる代表的疾患の臨床像を概説できる
他の科目との関連／Prerequisite	小児科では小児特有の成長・発達に加え、すべての臓器が診療の対象になりますので、各科目と関連します。
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	標準小児科学 第9版（医学書院）、参考書：小児科学 第3版（医学書院）、Nelson Textbook of Pediatrics 21th edition (Saunders)
授業の形式／Classwork	講義
成績の評価方法と基準／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	小児の特徴的な生理と成長発達を学んだ上で、小児の多岐にわたる疾患の病態を学び理解しましょう。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性／Relationship between the work experience and the course	小児科医が臨床経験に基づき小児一般及び各専門分野について講義する。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [4/3(金)2時限] 【431講義室】	総論1：小児の成長／【キーワード】発育の原則、成長に関係する因子、成長の評価	小児の成長の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・難波 範行
2 [4/9(木)3時限] 【112講義室】	神経7：神経筋疾患(1)／【キーワード】脊髄性筋萎縮症、Duchenne型筋ジストロフィー	神経筋疾患について予習・復習を行う	【担当者】研究推進機構研究基盤センター(非常勤講師)・栗野 宏之
3 [4/10(金)2時限] 【431講義室】	総論2：小児の栄養／【キーワード】栄養素の代謝、栄養必要量、母乳栄養、人工栄養、ビタミン欠乏症、栄養不良	小児の栄養の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・難波 範行
4 [4/16(木)3時限] 【431講義室】	神経1：小児の発達／【キーワード】反射・姿勢の発達の变化、運動発達、精神発達、発達の評価法	小児の発達について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・前垣 義弘
5 [4/17(金)2時限] 【431講義室】	総論3：小児保健／【キーワード】マスクリーニング、乳幼児健康診査、学校保健、小児保健統計、事故・中毒	小児保健の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・今本 彩
6 [4/23(木)3時限] 【431講義室】	神経8：神経筋疾患(2)／【キーワード】福山型先天性、筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、重症筋無力症	神経筋疾患について予習・復習を行う	【担当者】研究推進機構研究基盤センター(非常勤講師)・栗野 宏之
7 [4/24(金)2時限] 【431講義室】	内分泌1：酸塩基平衡、水電解質代謝異常／【キーワード】酸塩基平衡、脱水症、電解質異常、副甲状腺疾患、骨代謝異常	授業で扱うテーマを参照し、予習・復習をした内容を配布資料を用いてノートにまとめること(1時間)	【担当者】周産期小児医学・藤本 正伸
8 [4/30(木)3時限] 【431講義室】	神経2：先天異常、染色体異常、奇形(1)／【キーワード】遺伝、染色体	先天異常、染色体異常、奇形について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・中村 裕子
9 [5/1(金)2時限] 【431講義室】	神経4：てんかん、発作性疾患／【キーワード】点頭てんかん、中心側頭部に棘波を持つ良性小児てんかん、小児欠伸てんかん	てんかん、発作性疾患について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・岡西 徹
10 [5/7(木)3時限] 【431講義室】	血液1：免疫疾患／【キーワード】生体防御機構、発育に伴う免疫能の変化、原発性免疫不全	標準小児科学第9版の該当の箇所を事前に学習し、授業後は授業資料を復習すること	【担当者】周産期小児医学・奥野 啓介
11 [5/14(木)3時限] 【431講義室】	呼吸器2：下気道疾患、肺炎、胸郭の疾患／【キーワード】急性細気管支炎、細菌性肺炎、肺分画症、胸膜炎	小児の下気道疾患、肺炎、胸郭の疾患の予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・中村 裕子
12 [5/15(金)2時限] 【431講義室】	循環器1：循環器疾患の症候・診断・治療、先天性心疾患／【キーワード】心臓の発生、症候・診断・治療、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症	循環器疾患の症候・診断・治療、先天性心疾患の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・美野 陽一
13 [5/21(木)3時限] 【431講義室】	血液2：赤血球系疾患／【キーワード】鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆、遺伝性球状赤血球症、自己免疫性溶血性貧血	標準小児科学第9版の該当の箇所を事前に学習し、授業後は授業資料を復習すること	【担当者】周産期小児医学・奥野 啓介
14 [5/22(金)2時限] 【431講義室】	消化器1：消化器疾患／【キーワード】腸重積、肥厚性幽門狭窄症、十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患	消化器疾患の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・福嶋 健志
15 [5/29(金)2時限] 【431講義室】	循環器2：先天性心疾患／【キーワード】心内膜床欠損症、動脈管開存症、肺動脈狭窄症、大血管転位症 など	予習：左右短絡疾患について説明できるように、事前に学習しておくこと 復習：ファロー四徴症の無酸素発作について図示して説明ができる、大血管転位症の分類について説明ができる	【担当者】周産期小児医学・美野 陽一
16 [6/3(水)3時限] 【431講義室】	腎臓1：腎泌尿器疾患の病態、治療、ネフローゼ症候群／【キーワード】微小変化、巣状糸球体硬化症	復習：ファロー四徴症の無酸素発作について図示して説明ができる、大血管転位症の分類について説明ができる	【担当者】周産期小児医学(非常勤講師)・山田 祐子
17 [6/3(水)4時限] 【431講義室】	循環器3：先天性心疾患、後天性心疾患／【キーワード】両大血管右室起始症、総肺静脈還流異常、左心低形成、心筋炎 など	予習：フォンタン手術適応病態について、事前に学習しておくこと 復習：感染性心内膜炎、心筋炎、心膜炎の原因や病態について説明ができること	【担当者】周産期小児医学・上榎 仁志
18 [6/5(金)2時限] 【431講義室】	血液3：小児白血病・網内系疾患／【キーワード】急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、悪性リンパ腫、組織球症	標準小児科学第9版の該当の箇所を事前に学習し、授業後は授業資料を復習すること	【担当者】周産期小児医学・奥野 啓介
19 [6/9(火)3時限] 【431講義室】	神経3：先天異常、染色体異常、奇形(2)／【キーワード】染色体異常症、先天奇形症候群、神経皮膚症候群、脳形成異常症、脳性まひ	先天異常、染色体異常、奇形について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・太田 健人
20 [6/10(水)3時限] 【431講義室】	神経9：先天代謝異常症・変性疾患(1)／【キーワード】アミノ酸代謝異常、有機酸代謝異常、糖質代謝異常、ムコ多糖症、脂質代謝異常	先天代謝異常症・変性疾患について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・細田 龍生
21 [6/10(水)4時限] 【431講義室】	循環器4：不整脈、血圧の異常、後天性心疾患／【キーワード】房室ブロック、脚ブロック、期外収縮、高血圧、起立性調節障害、川崎病	不整脈、血圧の異常、後天性心疾患の予習・復習を行う	【担当者】エコチル調査鳥取ユニットセンター(周産期・小児医学)・清水 敬太

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
22 [6/12(金)2時限] 【431講義室】	内分泌2：肥満、視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患/ 【キーワード】肥満、下垂体機能低下症、甲状腺機能低下症、Basedow病	肥満、視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・藤本 正伸
23 [6/16(火)3時限] 【431講義室】	神経10：先天代謝異常症・変性疾患(2) / 【キーワード】同上、核酸代謝異常、金属代謝異常、ビタミン代謝異常	先天代謝異常症・変性疾患について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・前垣 義弘
24 [6/17(水)3時限] 【431講義室】	神経5：発達障害、知的障害、精神・心身医学/ 【キーワード】発達障害、自閉症、注意欠陥・多動性障害、学習障害、知的障害、チック	発達障害、知的障害、精神・心身医学について予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・金井 創太郎
25 [6/17(水)4時限] 【431講義室】	新生児1：新生児の生理、症候、管理/ 【キーワード】胎児・胎盤循環、新生児循環、診察、異常徴候、正常新生児	新生児の生理、症候、管理の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・宮原 史子
26 [6/19(金)2時限] 【431講義室】	内分泌3：糖質代謝異常、脂質代謝異常/ 【キーワード】糖尿病、低血糖、ケトン性低血糖症	授業で扱うテーマを参照し、予習・復習をした内容を配布資料を用いてノートにまとめること(1時間)	【担当者】周産期小児医学・藤本 正伸
27 [6/23(火)3時限] 【431講義室】	血液4：出血性・血栓性疾患 【キーワード】血友病、von Willebrand病、ITP、DIC	標準小児科学第9版の該当の箇所を事前に学習し、授業後は授業資料を復習すること	【担当者】周産期小児医学・奥野 啓介
28 [6/24(水)3時限] 【431講義室】	腎臓2：慢性糸球体腎炎、急性糸球体腎炎/ 【キーワード】IgA腎症、紫斑病性腎炎、膜性増殖性腎炎、急性糸球体腎炎	糸球体腎炎の症候・診断・治療の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学(非常勤講師)・山田 祐子
29 [6/24(水)4時限] 【431講義室】	新生児2：ハイリスク児、新生児の救急疾患/ 【キーワード】ハイリスク児、新生児仮死、呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、慢性肺疾患、新生児遷延性肺高血圧症	ハイリスク児、新生児の救急疾患の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・宮原 史子
30 [6/26(金)2時限] 【431講義室】	内分泌4：蛋白代謝異常、微量元素欠乏症、副腎疾患、性腺疾患/ 【キーワード】蛋白代謝異常、微量元素、先天性副腎過形成、性腺機能不全、半陰陽	授業で扱うテーマを参照し、予習・復習をした内容を配布資料を用いてノートにまとめること(1時間)	【担当者】周産期小児医学・山口 由起子
31 [6/30(火)3時限] 【431講義室】	神経6：中枢神経感染・炎症性疾患/ 【キーワード】細菌性髄膜炎、ウイルス性髄膜炎、脳炎、急性脳症、急性散在性脳脊髄炎	中枢神経感染・炎症性疾患	【担当者】脳神経小児科学・吉野 豪
32 [7/1(水)3時限] 【431講義室】	新生児3：新生児の消化器疾患、血液疾患、代謝異常/ 【キーワード】食道閉鎖、鎖肛、新生児メレナ、低血糖症、低Ca血症、未熟児網膜症	新生児の消化器疾患、血液疾患、代謝異常の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・今本 彩
33 [7/1(水)4時限] 【431講義室】	アレルギー疾患1/ 【キーワード】アトピー疾患、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー	アレルギー反応の分類、代表的な疾患、食物アレルギーの診断とアナフィラキシー対応について、予習と復習に励むこと	【担当者】周産期小児医学・倉信 奈緒美
34 [7/3(金)2時限] 【431講義室】	アレルギー疾患2/ 【キーワード】気管支喘息、アトピー性皮膚炎	アレルギー疾患について予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・友森 あや
35 [7/7(火)3時限] 【431講義室】	感染症1：感染症総論、各論/ 【キーワード】検査、ウイルス性腸炎、クラミジア、リケッチア、真菌、寄生虫	小児期感染症の予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・金井 創太郎
36 [7/8(水)3時限] 【431講義室】	新生児4：新生児の黄疸、感染症/ 【キーワード】核黄疸、光線療法、TORCH症候群、細菌感染症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等を押さえた小テストを添付するので、自分で記入して復習に励むこと	【担当者】周産期小児医学・藤井 宏美
37 [7/8(水)4時限] 【431講義室】	腎臓3：遺伝性腎炎、腎不全、尿路奇形/ 【キーワード】アルポート症候群、溶血性尿毒症症候群、腎不全、低形成腎、水腎症	遺伝性腎炎、腎不全、尿路奇形の症候・診断・治療の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学(非常勤講師)・岡田 晋一
38 [7/10(金)2時限] 【431講義室】	血液5：小児の固形腫瘍/ 【キーワード】神経芽腫、肝芽腫、ウィルムス腫瘍	標準小児科学第9版の該当の箇所を事前に学習し、授業後は授業資料を復習すること	【担当者】周産期小児医学・奥野 啓介
39 [7/14(火)3時限] 【431講義室】	感染症2：細菌感染症/ 【キーワード】溶連菌、ブドウ球菌、病原性大腸菌、百日咳菌、結核	細菌感染症の予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・熊崎 健介
40 [7/15(水)3時限] 【431講義室】	消化器2：肝疾患/ 【キーワード】ウイルス肝炎、新生児肝炎、脂肪肝炎、代謝性肝障害、自己免疫性肝炎	肝臓の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・倉信 奈緒美
41 [7/15(水)4時限] 【431講義室】	消化器3：胆道・膵疾患/ 【キーワード】胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、嚢胞線維症、急性膵炎、慢性膵炎	胆汁うっ滞の病態生理、小児期の代表的な胆道疾患である胆道閉鎖症・先天性胆管拡張症と、急性膵炎の診断と治療について、予習と復習に励むこと	【担当者】周産期小児医学・福嶋 健志
42 [7/17(金)2時限] 【431講義室】	総論4：小児医療総論/ 【キーワード】小児プライマリケア、研究マインド	小児医療におけるプライマリケアと研究マインドについて予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学・難波 範行

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
43 [7/21(火)3時限] 【 431講義室】	感染症3：ウイルス感染症/ 【キーワード】 突発性発疹、風疹、麻疹、水痘、ヘルペスウイルス、HIV、予防接種法	ウイルス感染症の予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・吉野 豪
44 [7/22(水)3時限] 【 431講義室】	呼吸器1：上気道疾患、睡眠の異常/ 【キーワード】 かぜ症候群、クループ症候群、先天性喘鳴、副鼻腔炎、睡眠時無呼吸症候群	小児の上気道疾患、睡眠の疾患の予習・復習を行う	【担当者】脳神経小児科学・細田 龍生
45 [7/22(水)4時限] 【 431講義室】	膠原病/ 【キーワード】 若年性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、Sjogren症候群、混合性結合組織病	小児期膠原病の予習・復習を行う	【担当者】周産期小児医学(非常勤講師)・岡田 晋一

科目コード／Subject Code	M7208023
ナンバリング／Numbering	MMCLM3017
科目名／Subject Name	臨床感染症学
英文科目名／Subject English Name	Clinical Medicine (Infection)
担当教員／Teacher Name	吉藤 歩, 永島 英樹, 千酌 浩樹, 山田 七子, 八島 一夫, 本田 正史, 中本 成紀, 瀧川 洋史, 山本 学, 山口 徳也, 小山 哲史, 弓岡 徹也, 北浦 剛, 岡田 健作
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	1.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	吉藤 歩（感染症内科/臨床感染症学講座）
オフィスアワー／Office Hours	火曜日午前中
担当教員への連絡方法／Contact Details	感染症内科TEL 0859-38-6076
授業の目的と概要／Course Description and Outline	感染症の原因、病態、診断、治療を説明できる。
キーワード／Keywords	発熱、病原微生物、培養検査、MRSA、院内感染対策の歴史、感染防御法、標準予防策・接触予防策・空気予防策、市中肺炎、院内肺炎、感染症一般、腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、単純ヘルペス、水痘・帯状疱疹ウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、ウイルス性疣贅、結核・非結核性抗酸、ツツガムシ病、Q熱、エキノコックス症、狂犬病、結膜炎、角膜炎、網脈絡膜炎、眼内炎、溶血性連鎖球菌、ブドウ球菌、インフルエンザ菌、肺炎球菌、病原性大腸菌、百日咳菌、梅毒、淋疾、非淋菌性尿道炎、軟性下疳、陰部ヘルペス、尖圭コンジローマ、疥癬
到達目標／Objectives	（臨床感染症学）感染症の原因、病態、診断、治療を説明できる。
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	プリントを配布します（一部配布しない講義があります）
授業の形式／Classwork	講義、発表（プレゼンテーション）、グループ演習
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	定期試験＋一部の講義で行う小テスト
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師・臨床検査技師が、その経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/2(木) 5時限] 【 431講義室】	感染症診療の考え方／【キーワード】発熱、病原微生物、培養検査、診断、治療	感染症の基本的な考え方について、概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学・吉藤 歩／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
2[4/3(金) 5時限] 【 431講義室】	抗菌薬の基礎／【キーワード】抗菌薬	抗菌薬の使い方について基本的な考え方を復習する	【担当者】臨床感染症学・北浦 剛／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
3[4/6(月) 5時限] 【 431講義室】	感染症の臨床検査／【キーワード】検体採取、喀痰培養、血液培養、尿培養、便培養	感染症の臨床検査について概要をまとめ、復習すること	【担当者】検査部（非常勤講師）・室田 博美／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
4[4/7(火) 3時限] 【 431講義室】	外科領域感染症・周術期感染症／【キーワード】原因、症候、診断、治療、予防	外科領域の感染症・周術期の感染症について概要をまとめ、復習すること	【担当者】病態制御外科学・山本 学／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
5[4/7(火) 4時限] 【 431講義室】	薬剤耐性菌の基礎と臨床／【キーワード】MRSA、ESBL	薬剤耐性菌について概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学・永水 恭介／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
6[4/10(金) 5時限] 【 431講義室】	血流感染症・感染性心内膜炎／【キーワード】カテーテル感染、感染性心内膜炎	血流感染症について概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学・北浦 剛／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
7[4/13(月) 5時限] 【 431講義室】	腎尿路系感染症／【キーワード】発熱、病原微生物、培養検査、診断、治療	腎尿路系感染症の原因、病態、診断、治療について概要をまとめ、復習すること	【担当者】泌尿器科・森實 修一／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
8[4/17(金) 5時限] 【 431講義室】	成人ワクチン／【キーワード】肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチン	成人を対象としたワクチンの概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学・吉藤 歩／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
9[4/20(月) 5時限] 【 431講義室】	性行為感染症／【キーワード】梅毒、淋疾、非淋菌性尿道炎、軟性下疳、陰部ヘルペス、尖圭コンジローマ、疥癬	性行為感染症の原因、病態、診断、治療について概要をまとめ、復習すること	【担当者】泌尿器科・清水 龍太郎／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
10[4/24(金) 5時限] 【 431講義室】	神経感染症／【キーワード】脳炎、髄膜炎、プリオン病	神経系感染症の原因、病態、診断、治療について概要をまとめ、復習すること	【担当者】脳神経内科・瀧川 洋史／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
11[4/27(月) 5時限] 【 431講義室】	呼吸器感染症／【キーワード】急性気管支炎、肺炎、胸膜炎	呼吸器症状や肺炎像を認めた時の考え方について、概要をまとめ復習すること	【担当者】臨床感染症学・中本 成紀／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
12[5/1(金) 5時限] 【 431講義室】	消化器感染症／【キーワード】腸炎ビブリオ、病原性大腸菌性腸炎、MRSA腸炎、カンパクター腸炎	消化器感染症の原因、病態、診断、治療についてポイントをまとめ復習すること	【担当者】消化器腎臓内科学・八島 一夫／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)
13[5/15(金) 5時限] 【 431講義室】	免疫不全者の感染症／【キーワード】細胞性免疫、液性免疫、日和見感染	免疫不全者の感染症について概要をまとめ復習すること	【担当者】臨床感染症学・岡田 健作／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
14[5/18(月) 2時限] 【 431講義室】	耳鼻科領域感染症／【キーワード】扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎	耳鼻科領域の感染症について概要をまとめ、復習すること	【担当者】頭頸部診療科群・小山 哲史／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
15[5/22(金) 5時限] 【 431講義室】	HIV感染症／【キーワード】HIV、エイズ、病態、治療、感染経路、流行、日本、世界	HIV感染症の病態・予防・治療の現状と診療上の問題点について概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学・岡田 健作／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)
16[5/25(月) 2時限] 【 431講義室】	筋肉、骨、関節感染症／【キーワード】壊死性筋膜炎、骨髄炎、関節炎	筋肉、骨、関節感染症について概要をまとめ、復習すること	【担当者】整形外科学・三原 徳満／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔(資料・課題学習)

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
17[6/2(火) 2時限] 【 431講義室】	感染対策／【キーワード】MRSA、院内感 染対策の歴史、感染防御法、標準予防策 ・接触予防策・空気予防策	院内感染対策について概要をまとめ、復 習すること	【担当者】臨床感染症学 ・中本 成紀／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
18[6/8(月) 2時限] 【 431講義室】	結核・非定型抗酸菌症／【キーワード】 疫学、原因、症候、診断、治療、予防	結核・非定型抗酸菌症について概要をま とめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学 ・中本 成紀／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
19[6/9(火) 4時限] 【 431講義室】	入院患者における発熱の考え方／【キー ワード】ケーススタディ	講義で提示した感染症症例の診断と治療 について概要をまとめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学 ・北浦 剛／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
20[6/16(火) 4時限] 【 431講義室】	皮膚感染症／【キーワード】皮膚結核・ 非結核性抗酸菌症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと 。講義資料の重要事項を復習すること	【担当者】皮膚病態学・ 山田 七子／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
21[6/23(火) 4時限] 【 431講義室】	渡航者感染症／【キーワード】マラリア 、蚊媒介感染症	渡航者感染症について概要をまとめ復習 すること	【担当者】医動物学教室 ・大槻 均、臨床感染症 学・吉藤 歩／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
22[7/21(火) 2時限] 【 431講義室】	人獣共通感染症／【キーワード】ツツガ ムシ病、Q熱、エキノコックス症、狂犬 病	人畜共通感染症について概要をまとめ、 復習すること	【担当者】臨床感染症学 ・岡田 健作／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）
23[7/21(火) 4時限] 【 431講義室】	不明熱、感染症診療のまとめ／【キーワ ード】不明熱	不明熱を中心に感染症診療の考え方をま とめ、復習すること	【担当者】臨床感染症学 ・吉藤 歩／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン）遠隔（資料・課題学習 ）

科目コード／Subject Code	M7208066
ナンバリング／Numbering	MMIND3601
科目名／Subject Name	総合感染症学・実習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	吉藤 歩, 中本 成紀, 北浦 剛, 岡田 健作, 永水 恭介
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	実験実習
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	吉藤 歩（臨床感染症学）
オフィスアワー／Office Hours	火曜日午前中
担当教員への連絡方法／Contact Details	感染症内科TEL 0859-38-6076
授業の目的と概要／Course Description and Outline	プリントを配布します（一部配布しない実習があります）
キーワード／Keywords	発熱、鑑別診断、抗微生物薬治療、標準予防策、手洗い、感染経路別予防策、個人防護具、感染症検査、感染対策、鼻咽頭検体、喀痰、尿、血液培養
到達目標／Objectives	感染症に対する基本的対応能力を身につける
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	
授業の形式／Classwork	講義発表（プレゼンテーション）、グループ演習
成績の評価方法と基準 ／Assessment	・実習内容 90%と授業態度10%で評価します。 ・実習内容の評価には、小テスト（個人およびグループ）、応用演習への回答状況（グループ）、課題への回答状況などが含まれます。 ・基本的にはTBLチュートリアル（個人、ならびにグループに分かれての演習）形式で行います。 このため、欠席や遅刻は、同じグループのメンバーに多大な迷惑をかけますので、全員出席を原則とします。遅刻は厳禁です。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師が、その経験を活かし、感染症分野に関する実習・講義・グループワークを行う

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[6/3 (水) 1時限] 【 431講義室、ETU3-1～13】	実習1 手指衛生と個人防護具の着脱	基本的手洗いの仕方と個人防護具の着脱方法を実習を通して学ぶ。	【担当者】臨床感染症学 ・中本 成紀／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
2[6/3 (水) 2時限] 【 431講義室、ETU3-1～13】	実習1 手指衛生と個人防護具の着脱	基本的手洗いの仕方と個人防護具の着脱方法を実習を通して学ぶ。	【担当者】臨床感染症学 ・中本 成紀／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
3[6/15 (月) 1時限] 【 323講義室】	実習2 血液検体採取	感染症検査のための、検体採取手技を実習を等して学ぶ	【担当者】臨床感染症学 ・北浦 剛／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
4[[6/15 (月) 2時限] 【 323講義室】	実習2 血液検体採取	感染症検査のための、検体採取手技を実習を等して学ぶ	【担当者】臨床感染症学 ・北浦 剛／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
5[6/22 (月) 1時限] 【 431講義室】	感染症ケーススタディ（1）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
6[6/22 (月) 2時限] 【 431講義室】	感染症ケーススタディ（2）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・北浦 剛／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
7[6/29 (月) 1時限] 【 431講義室】	感染症ケーススタディ（3）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
8[6/29 (月) 2時限] 【 431講義室】	インフルエンザアウトブレイク実習	インフルエンザの基本的事項について予習する	【担当者】臨床感染症学 ・吉藤 歩／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
9[6/30 (火) 4時限] 【 431講義室】	感染症ケーススタディ（4）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・岡田 健作／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン1遠隔（資料・課題学習 ））
10[7/6 (月) 2時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（1）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、北浦 剛 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン1遠隔（資料 ・課題学習））
11[7/7 (火) 4時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（1）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、北浦 剛 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン1遠隔（資料 ・課題学習））
12[7/13 (月) 2時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（2）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、中本 成 紀／（対面可：対面、対 面不可：パターン1遠隔（資 料・課題学習））
13[7/14 (火) 4時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（2）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、中本 成 紀／（対面可：対面、対 面不可：パターン1遠隔（資 料・課題学習））
14[7/22 (水) 1時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（3）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、吉藤 歩 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン1遠隔（資料 ・課題学習））
15[7/22 (水) 2時限] 【 431講義室】	感染症 グループワーク（3）	基礎的感染症事項を学ぶ 事前配付資料を熟読して予習を行う	【担当者】臨床感染症学 ・永水 恭介、吉藤 歩 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン1遠隔（資料 ・課題学習））

科目コード／Subject Code	M7208024
ナンバリング／Numbering	MMCLM2006
科目名／Subject Name	臨床腫瘍学
英文科目名／Subject English Name	Clinical Medicine (Oncology)
担当教員／Teacher Name	小谷 昌広, 倉吉 和夫, 土谷 博之, 矢内 正晶, 遠藤 佑輔, 照屋 靖彦, 星野 由樹
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	0.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	科目責任者：小谷 昌広（がんセンター） 科目副責任者：土谷 博之（ゲノム再生医学講座 再生医療学分野） 講義担当教員：矢内 正晶（がんセンター）、星野 由樹（がんセンター）、倉吉 和夫（がんセンター）、遠藤 佑輔（研究推進機構研究戦略本部）
オフィスアワー／Office Hours	月曜3限（5コマ）、月曜4限（1コマ）、木曜3限（1コマ）、木曜4限（1コマ）
担当教員への連絡方法／Contact Details	がんセンター事務室 0859-38-6292
授業の目的と概要／Course Description and Outline	科目到達目標：臨床腫瘍学の基本を理解するため、計8コマの講義を行う。
キーワード／Keywords	集団検診、画像診断、腫瘍マーカー、手術、放射線、抗がん剤、がん救急、化学療法、分子標的治療、免疫チェックポイント阻害薬、がん、増殖シグナル、免疫回避機構、鎮痛薬、鎮痛補助薬、疼痛管理、副作用、呼吸器症状、消化器症状、免疫関連有害事象、インフォームド・コンセント、臨床試験、精神症状、地域連携、社会的基盤
到達目標／Objectives	臨床腫瘍学の基本を理解する。
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	がん診療レジデントマニュアル第9版(医学書院)
授業の形式／Classwork	講義形式
成績の評価方法と基準 ／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	予習復習内容を理解した上で講義に望むこと
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[5/18 (月)3時限] 【 112講義室】	予防・検診・診断／【キーワード】集団 検診、画像診断、腫瘍マーカー	授業で扱うテーマを参照し予習すること。 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】がんセンター ・小谷 昌広
2[5/25 (月)3時限] 【 112講義室】	標準治療とがん救急／【キーワード】手 術、放射線、抗がん剤、がん救急	授業で扱うテーマを参照し予習すること。 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】がんセンター ・小谷 昌広
3[5/25 (月)4時限] 【 112講義室】	化学療法／【キーワード】化学療法、分 子標的治療、免疫チェックポイント阻害 薬	当該授業部分を予習し、講義後は講義内 容の理解を深めるために、当日の資料を 精読し、復習に励むこと（1.5時間）	【担当者】がんセンター ・照屋 靖彦
4[5/28 (木)3時限] 【 431講義室】	がんの生物学／【キーワード】がん、増 殖シグナル、免疫回避機構	授業で扱うテーマを参照し予習すること。 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】がんセンター ・星野 由樹
5[5/28 (木)4時限] 【 431講義室】	疼痛管理／【キーワード】鎮痛薬、鎮痛 補助薬、疼痛管理	授業で扱うテーマを参照し予習すること。 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】がんセンター ・倉吉 和夫
6[6/8 (月)3時限] 【 431講義室】	支持療法・症状管理／【キーワード】副 作用、呼吸器症状、消化器症状、免疫関 連有害事象	当該授業部分を予習し、講義後は講義内 容の理解を深めるために、当日の資料を 精読し、復習に励むこと（1.5時間）	【担当者】がんセンター ・照屋 靖彦
7[6/15 (月)3時限] 【 431講義室】	臨床試験／【キーワード】インフォーム ド・コンセント、臨床試験	授業のキーワードについて調べておくこ と。講義後も講義内容の理解を深めるた めに当日の概要・ポイント等をレポート 等にまとめるなど、復習に励むこと。	【担当者】研究推進機構 URA本部・遠藤 佑輔
8[6/22 (月)3時限] 【 431講義室】	心理社会的側面／【キーワード】精神症 状、地域連携、社会的基盤	授業で扱うテーマを参照し予習すること。 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】がんセンター ・倉吉 和夫

科目コード／Subject Code	M7206099
ナンバリング／Numbering	MMIMM3001
科目名／Subject Name	免疫・アレルギー
英文科目名／Subject English Name	Immunology and Allergology
担当教員／Teacher Name	山崎 章, 宮崎 大, 山田 七子, 長田 佳子, 岡崎 亮太, 足立 正, 高田 美樹, 原田 智也, 武田 真紀子, 河野 紘輝
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	木 4, 金 3
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	山崎 章（呼吸器・膠原病内科学）、長田桂子、山田七子、原田智也、倉信奈緒美 武田真紀子、岡崎亮太、河野紘輝、宮崎 大、足立 正
オフィスアワー／Office Hours	毎週月曜日9:00から12:00
担当教員への連絡方法／Contact Details	内線6537（呼吸器・膠原病内科学教室）あるいはe-mail
授業の目的と概要／Course Description and Outline	免疫アレルギー疾患の病態を理解し、診断および治療を説明できる
キーワード／Keywords	全身性自己免疫疾患、自己抗体、多臓器非特異的炎症性疾
到達目標／Objectives	免疫アレルギー疾患の病態を理解し、診断および治療を説明できる
他の科目との関連／Prerequisite	特にありません。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	皮膚科 標準皮膚科学、呼吸器・膠原病内科学、第三内科診療科群 膠原病診療ノート、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 なし、神経病理学 なし、薬理学・薬物療法学 なし、視覚病態学 なし
授業の形式／Classwork	講義
成績の評価方法と基準 ／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	アレルギー、膠原病は多くの診療科が関係します。授業を中心に多くのことを学んでください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	特にありません。
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/3(金)3時限] 【431講義室】	膠原病の概念／【キーワード】全身性自己免疫疾患、自己抗体、多臓器非特異的炎症性疾	膠原病とは何か？ 抗核抗体・特異自己抗体について 治療薬について（ステロイド・免疫抑制剤）	【担当者】第三内科診療科群・河野紘輝／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
2[4/9(木)4時限] 【112講義室】	膠原病性肺炎／【キーワード】膠原病肺、関節リウマチ、強皮症、皮膚筋炎、間質性肺炎	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は当日の概要・ポイントについて復習すること。	【担当者】呼吸器・膠原病 内科学・山崎 章／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
3[4/10(金)3時限] 【431講義室】	アレルギー性鼻炎／【キーワード】house dust mite、花粉症、IgE、肥満細胞、Th1・Th2、サイトカイン	当該範囲の教科書をよむこと	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部 外科学 武田真紀子／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
4[4/16(木)4時限] 【431講義室】	全身性エリテマトーデス(SLE)／【キーワード】蝶形紅斑、抗核抗体、中枢神経ループス、ループス腎炎	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。SLEの特徴や診断基準、治療について復習に励むこと。	【担当者】第三内科診療科群・岡崎 亮太／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
5[4/17(金)3時限] 【431講義室】	眼科領域の免疫アレルギー疾患／【キーワード】ブドウ膜炎、アレルギー性結膜炎、ベーチェット病、シェーグレン症候群、加齢性黄斑変性症	講義内容の理解を深めるために、講義で紹介したレビュー論文または教科書を参照し、ノートにまとめること	【担当者】視覚病態学・宮崎大／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
6[4/23(木)4時限] 【431講義室】	筋炎／【キーワード】皮膚筋炎、多発筋炎	皮膚筋炎、多発筋炎の臨床症状と検査所見および治療について、教科書および治療ガイドラインをよく読むこと	【担当者】神経病理学・足立 正／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
7[4/24(金)3時限] 【431講義室】	悪性関節リウマチ／【キーワード】悪性関節リウマチ、IgG4関連疾患	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は当日の概要・ポイントについて復習すること。	【担当者】呼吸器・膠原病 内科学・山崎 章／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
8[4/30(木)4時限] 【431講義室】	免疫アレルギー疾患／【キーワード】関節リウマチ、ベーチェット病	各疾患の診断基準を基にして臨床症状・検査所見等をまとめる。	【担当者】第三内科診療科群・河野紘輝／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
9[5/1(金)3時限] 【431講義室】	食物アレルギー／【キーワード】IgE、経皮曝露、食物経口負荷試験、アドレナリン自己注射薬	当該授業部分の教科書、食物アレルギーの診療の手引き2020をよく読むこと	【担当者】周産期・小児医学・倉信奈緒美／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
10[5/7(木)4時限] 【431講義室】	血管炎症候群／【キーワード】高安病、結節性多発動脈炎、ANCA関連血管炎	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は当日の概要・ポイントについて復習すること。	【担当者】第三内科診療科群・原田 智也／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
11[5/14(木)4時限] 【431講義室】	血管炎症候群、混合性結合織病(MCTD)／【キーワード】抗U1-RNP抗体、ソーセージ様手指、肺高血圧症	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は当日の概要・ポイントについて復習すること。	【担当者】第三内科診療科群・原田 智也／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
12[5/15(金)3時限] 【431講義室】	アナフィラキシー／【キーワード】アナフィラキシー、ショック、IgE、ハチ、皮下	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。講義後は当日の概要・ポイントについて復習すること。	【担当者】呼吸器・膠原病 内科学・山崎 章／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
13[5/21(木)4時限] 【431講義室】	強皮症、シェーグレン症候群／【キーワード】レイノー現象、皮膚硬化、肺高血圧症、間質性肺炎	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。強皮症、シェーグレン症候群の特徴や診断基準、治療について復習に励むこと。	【担当者】第三内科診療科群・岡崎 亮太／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
14[5/22(金)3時限] 【431講義室】	膠原病の皮膚病変／【キーワード】蝶形紅斑、ヘリオトロフ疹、ゴットロン徴候、指尖潰瘍、皮膚硬化、光線過敏、脱毛、メカニックスハンド、爪上皮出血	当該授業部分の教科書（下記掲載）を読んでおくこと	【担当者】卒後臨床研修センター・山田 七子／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
15[5/29(金)3時限] 【431講義室】	薬物アレルギー／【キーワード】薬物アレルギー、薬物有害反応	当該授業部分の教科書を読み、授業プリントを復習する	【担当者】薬理学・薬物療法学・長田 佳子／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））

科目コード／Subject Code	M7208043
ナンバリング／Numbering	MMCLM2007
科目名／Subject Name	麻酔科学
英文科目名／Subject English Name	Anesthesiology
担当教員／Teacher Name	大槻 明広, 南 ゆかり, 森山 直樹, 船木 一美, 青木 亜紀, 仲宗根 正人, 北川 良憲, 湊 弘之, 遠藤 涼, 矢部 成基, 菅澤 萌, 梅田 康太郎, 上平 遼
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 3, 月 4
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	大槻明広、湊弘之、梅田康太郎（医学部麻酔・集中治療医学、第2中央診療棟8階、麻酔科医局） 遠藤涼、仲宗根正人、北川良憲、菅沢萌（医学部附属病院麻酔科 附属病院4F） 南ゆかり、森山直樹（医学部附属病院高次集中治療部 附属病院4F） 船木一美、青木亜紀、矢部成基、上平遼（医学部附属病院手術部 附属病院4F）
オフィスアワー／Office Hours	水曜日の午前10時～12時（ただし、学会等で不在のことあり） 医局に不在の場合は、手術室内麻酔科医控室内線6835またはPHS 87294に連絡してください。
担当教員への連絡方法／Contact Details	9:30-15:00 麻酔科医局 TEL:0859-38-6657（第2中央診療棟8階） 上記の時間に医局秘書に連絡してください。あるいは、 医局秘書 anesth@tottori-u.ac.jpまでメールを送ってください。 学務課教務係 (me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)
授業の目的と概要／Course Description and Outline	周術期患者の恒常性維持のためには、手術で生じる生体侵襲と生体反応を理解した上での全身麻酔管理が求められる。全身麻酔に必要な周術期の呼吸生理、循環生理、内分泌代謝環境を講義するとともに、全身麻酔という高次中枢機能の低下をもたらす環境下における神経学的反応や自律神経反射の制御法、および新生児から超高齢者をまでを対象とした多種多様な手術に対する麻酔管理法について講義する。また集中治療室での臓器横断的、各診療科と協力しておこなう重症患者治療やベイクリニックについても講義する。
キーワード／Keywords	麻酔法、神経ブロック、循環生理、輸血法、人工呼吸管理、体温管理、栄養管理、生体侵襲と生体反応、ショック
到達目標／Objectives	麻酔科学とその周辺領域の知識を獲得し、患者の全身管理法を説明できる
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	講義資料は授業毎に紙媒体またはPDFで配布する 参考書： ミラー麻酔科学 メディカルサイエンスインターナショナル 監修：武田純三 2007年 麻酔科研修ノート改訂4版 診断と治療社 責任編集 稲田英一 2024年 集中治療医学 一般社団法人日本集中治療医学会編集 2023年
授業の形式／Classwork	講義 100%
成績の評価方法及び基準／Assessment	定期試験 100%（100点満点中60点以上で合格）
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	麻酔科では、多方面の疾患治療に共通して必要となる、全身管理や鎮静鎮痛を学びます。学習したことはどのような将来の進路に関わらず学生の皆さんの役に立つと思いますので、しっかり学習してください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有

実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。
--	----------------------------------

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/2 (木)3時限] 【431講義室】	麻酔科学総論／【キーワード】ストレス反応、恒常性維持機構、術前評価	教科書の麻酔総論および術前管理の項を読んでおくこと。講義後は麻酔の概念、手術侵襲時の生体反応、術前患者評価法、麻酔適応について授業内容をまとめて理解に努めること。	【担当者】麻酔・集中治療医学・大槻 明広／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
2[4/2 (木)4時限] 【431講義室】	臨床麻酔科学1／【キーワード】吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、オピオイド	麻酔の3要素と全身麻酔に用いる主な薬剤について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】麻酔・集中治療医学・大槻 明広／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
3[4/6 (月)3時限] 【431講義室】	臨床麻酔科学4／【キーワード】小児麻酔、産科麻酔、周産期麻酔管理	小児の気道・呼吸循環の特徴、妊婦の生理学的特徴と帝王切開の麻酔法について麻酔科研修ノートで予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】麻酔診療科群・仲宗根 正人／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
4[4/6 (月)4時限] 【431講義室】	臨床麻酔科学3／【キーワード】局所麻酔薬、筋弛緩薬、区域麻酔法	参考書などを用いて講義で扱うテーマについて事前学習しておくこと。講義後は配布資料を読み返して知識を再整理しておくこと。	【担当者】手術部・矢部 成基／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
5[4/13 (月)3時限] 【431講義室】	麻酔科学各論4／【キーワード】脳循環、脳保護法、低体温法	基本的な脳の生理、循環、代謝について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】麻酔診療科群・遠藤 涼／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
6[4/13 (月)4時限] 【431講義室】	麻酔科学各論1／【キーワード】呼吸生理、肺循環、低酸素性肺血管収縮	基礎講義で学んだ呼吸生理学を復習し麻酔科研修ノートの片肺換気の項目を熟読して予習しておくこと。講義後は講義内容の概要やポイントを各自まとめ復習すること。	【担当者】麻酔・集中治療医学・梅田 康太郎／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
7[4/20 (月)3時限] 【112講義室】	麻酔科学各論2／【キーワード】抗凝固法、深在静脈血栓症、肺塞栓症	血液凝固系および血栓症、肺塞栓症の予防と治療について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】麻酔診療科群・北川 良恵／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
8[4/20 (月)4時限] 【112講義室】	臨床麻酔科学2／【キーワード】輸液法、輸血法、体液・電解質管理	当該授業部分の教科書を読んでおくこと。厚生労働省「血液製剤の使用指針」に目を通すこと。講義後は講義内容の理解を深めるために復習に励むこと。	【担当者】麻酔・集中治療医学・菅沢 萌／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
9[4/27 (月)3時限] 【112講義室】	麻酔科学各論3／【キーワード】冠循環、体外循環、心機能評価、心エコー法	心臓の解剖、循環生理を理解する、心臓手術時の麻酔薬の役割について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】麻酔診療科群・湊 弘之／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
10[4/27 (月)4時限] 【112講義室】	ペインクリニック1／【キーワード】急性痛、慢性痛、下行性抑制系	痛みの種類についてどのようなものがあるか予め学習しておくこと。講義後は講義上で指摘した重要なポイント、特に痛みの分類や疼痛伝達経路、疼痛制御機構について授業内容をまとめて理解に努めること。	【担当者】麻酔・集中治療医学・大槻 明広／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
11[5/8 (金)3時限] 【112講義室】	ペインクリニック2／【キーワード】神経ブロック法、鎮痛薬、鎮痛補助薬	ペインクリニック1の講義内容（痛みの総論）を復習し疼痛に対する理解を深めておくこと。疼痛治療について調べておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】手術部・青木 亜紀／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
12[5/8 (金)4時限] 【112講義室】	集中治療医学1／【キーワード】集中治療医学概論、急性循環不全の病態、診断、治療	急性循環不全について予習し、質問を考えておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】高次集中治療部・南 ゆかり／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
13[5/11 (月)3時限] 【112講義室】	集中治療医学4／【キーワード】敗血症性ショック、感染症、SIRS、RRS	敗血症ガイドラインを読んでおくこと。日本版敗血症ガイドラインと可能であればSSCG2021を推奨。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。またRapid Response System(RSS)について概念を理解しておく	【担当者】高次集中治療部・森山 直樹／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
14[5/11 (月)4時限] 【112講義室】	集中治療医学3／【キーワード】栄養管理、体温管理、急性血液浄化	集中治療における栄養管理、体温管理、急性血液浄化治療について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】手術部・上平 遼／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）
15[5/18 (月)4時限] 【112講義室】	集中治療医学2／【キーワード】急性肺傷害、ARDS、人工呼吸管理	急性呼吸不全の病態生理と治療法、人工呼吸管理法について予習しておくこと。講義後は講義内容を復習し理解を深めること。	【担当者】手術部・舩木 一美／（対面可：対面、対面不可：パター2遠隔(オンデマンド学習)）

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
16[6/8 (月)1時限] 【 122講義室】	試験	教科書と講義資料等で予習しておくこと 。	【担当者】麻酔・集中治 療医学・大槻 明広

科目コード／Subject Code	M7206098
ナンバリング／Numbering	MMCLM3018
科目名／Subject Name	救急医学
英文科目名／Subject English Name	Emergency and Critical Care Medicine
担当教員／Teacher Name	本間 正人, 亀岡 聖史, 生越 智文, 山本 章裕, 吉岡 早戸, 上田 敬博, 大河原 悠介, 木村 隆誉
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 1, 月 2
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	授業中の資料を基に、下記の教科書を参考にしつつ十分復習をしてください。
備考／Note	標準救急医学第5版、日本救急医学会、医学書院、2014/01、救急診療指針改訂第6版、日本救急医学会、へるす出版、2024/4、JRC蘇生ガイドライン2020、一般社団法人 日本蘇生協議会、医学書院、2021/06、外傷初期診療ガイドライン改訂第6版、へるす出版;、2021/2、救急蘇生法の指針2020 医療従事者用改訂6版、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会、へるす出版2022/03、臨床中毒学第2版 医学書院 2023/11
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	教授 本間 正人（救急・災害医学） 担当教官：亀岡 聖史, 生越 智文, 山本 章裕, 吉岡 早戸, 大河原 悠介, 松田健一, 上田 敬博 医学部医学科救急災害分野 第二中央診療棟 5階 高度救命救急センター 医学部附属病院1階
オフィスアワー／Office Hours	平日 10時～16時
担当教員への連絡方法／Contact Details	研究室 電話番号 0859-38-6721（担当秘書） 救急・災害医学医局秘書に伝言してください
授業の目的と概要／Course Description and Outline	救急医学の概要について幅広く理解を深め、現在の救急医療がかかえる諸問題についてみずから指摘・考察し、自分の意見を述べる能力を養う
キーワード／Keywords	災害医療、外傷、熱傷、病院前救急医療、急性中毒、ショック、アナフィラキシ、ショック、急性呼吸不全、喘息、心肺蘇生法、脳卒中、メディカルコントロール
到達目標／Objectives	救急医療システム、災害時医療、および各種救急疾患の診療に関して説明できる 現在の救急医療がかかえる諸問題についてみずから指摘・考察し、自分の意見を述べる能力を養う
他の科目との関連／Prerequisite	他科の領域においても救急関連の内容について扱われる
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	・標準救急医学第5版、日本救急医学会、医学書院、2014/01、・救急診療指針改訂第6版、日本救急医学会、へるす出版、2024/4、・JRC蘇生ガイドライン2020、一般社団法人 日本蘇生協議会、医学書院、・JRC蘇生ガイドライン2025 オンライン版（パブリックコメント用）2021/06、・外傷初期診療ガイドライン改訂第6版、へるす出版;、2021/2、・救急蘇生法の指針2020 医療従事者用改訂6版、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会、へるす出版2022/03、・臨床中毒学第2版 医学書院 2023/11
授業の形式／Classwork	対面式
成績の評価方法及び基準／Assessment	定期試験70%、小テスト20%、受講態度10%
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	内容が多岐に及ぶため、復習を十分に行って欲しい
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、人間力（多様な環境下での協働力）
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性／Relationship between the work experience and the course	臨床での救急医療の経験豊富な高度救命救急センターで勤務する現役の医師が担当する。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [4/2(木)1限] 【431】	災害医療総論／【キーワード】災害拠点病院、DMAT、広域医療搬送、広域災害医療情報システム、CSCATTT	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・本間 正人／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
2 [4/2(木)2限] 【431】	災害医療各論／【キーワード】被ばく医療、CBRNE、テロ、除染、防護服	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・本間 正人／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
3 [4/6(月)1限] 【431】	外傷学総論／【キーワード】JPTEC、Load & Go、Preventable trauma death	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・亀岡 聖史／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
4 [4/6(月)2限] 【431】	外傷学各論／【キーワード】JATEC、ABCDEs approach、緊急治療を要する損傷、FAST	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・亀岡 聖史／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
5 [4/13(月)1限] 【431】	病院前医療学1／【キーワード】ドクターカー、ドクターヘリ	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・生越 智文／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
6 [4/13(月)2限] 【431】	国際緊急援助／【キーワード】国際援助、JICA、国際緊急援助隊	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・生越 智文／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
7 [4/20(月)1限] 【431】	急性中毒学総論／【キーワード】急性中毒の疫学、農薬物の検索、毒物の排除、解毒薬・拮抗薬	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・吉岡 早戸／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
8 [4/20(月)2限] 【431】	急性中毒学総論／【キーワード】医薬、農薬、工業薬品、ガス、アルコール、自然毒、家庭用品、麻薬中毒	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・吉岡 早戸／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
9 [4/27(月)1限] 【431】	心肺蘇生法／【キーワード】一次救命処置（BLS）、二次救命処置（ALS）、心停止後症候群（PCAS）	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・上田 敬博／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
10 [4/27(月)2限] 【431】	心肺蘇生法／【キーワード】一次救命処置（BLS）、二次救命処置（ALS）、心停止後症候群（PCAS）	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・上田 敬博／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
11 [5/8(金)1限] 【431】	重症熱傷／【キーワード】病態、重症度、治療、気道熱傷、化学熱傷、電撃傷	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・大河原 悠介／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
12 [5/8(金)2限] 【431】	緊急血液浄化・緊急体外循環／【キーワード】緊急血液浄化療法、ECMO、PCPS、e CPR	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・大河原 悠介／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
13 [5/11(月)1限] 【431】	神経救急／【キーワード】脳卒中の診療、意識レベルの観察、	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・松田 健一／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
14 [5/11(月)2限] 【431】	病院前医療学2／【キーワード】救急隊、救急救命士、メディカルコントロール、特定行為、処置拡大	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学（非常勤講師）・岡田 稔／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））
15 [5/18(月)1限] 【431】	救急医療で遭遇する病態1／【キーワード】ショックの定義、分類、病態、アナフィラキシー、PE	事前資料を事前学習（2時間）、授業の要点をまとめる（4時間）	【担当者】救急・災害医学・山本 章裕／（対面可：対面、対面不可：パターン1遠隔（資料・課題学習））

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
16 [5/25(月)1限] 【122】	総論／【キーワード】筆記試験	筆記試験により目標に達しているか、確認する。	【担当者】救急・災害医学（常勤講師）・本間正人／（対面のみ・遠隔不可）

科目コード／Subject Code	M7208027
ナンバリング／Numbering	MMCUM3301
科目名／Subject Name	地域医療体験
英文科目名／Subject English Name	Community Medicine (Practicum)
担当教員／Teacher Name	孫 大輔
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	孫 大輔（地域医療学講座）
オフィスアワー／Office Hours	9時～17時（地域医療学講座教員室）。事前にメールで連絡すること。
担当教員への連絡方法／Contact Details	eポートフォリオ経由あるいは下記メールにて連絡すること Email: cbfm@ml.med.tottori-u.ac.jp 急ぎの場合は、TEL: 38-6661（地域医療学講座）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	目的：地域の医療現場に参加し、実際の診療や地域住民の生活を観察・体験することを通して、地域医療の役割と特徴を理解するとともに、自らが持つ医療観や価値観を相対化し、多角的な視点から医療を捉える力を養うことを目的とする。あわせて、地域包括ケアを支える多職種連携や住民との関わりを理解し、将来の臨床実習および医療実践につながる基礎的姿勢を身につける。 概要：本実習では、地域の医療機関や関連施設において診療や地域活動に参加しながら参与観察を行い、地域医療現場で起こっている出来事や医療者・住民の関わりを体験的に学ぶ。実習では医療人類学の視点を取り入れ、フィールドノーツおよび電子ポートフォリオを用いて観察内容や学びを記録し、教員からのフィードバックを受けながら学修を深める。実習前後のオリエンテーションおよび総括を通して、自らの地域医療に対する理解の変化を振り返り、地域医療の実際を主体的に捉え直す学修を行う。
キーワード／Keywords	地域医療、プライマリ・ケア、多職種連携、参与観察、フィールドノーツ、ポートフォリオ学習
到達目標／Objectives	【一般目標】 地域医療現場を観察する中で現場の「当たり前」を認識しながら、学習者自身を相対化する。 【個別目標】 1. 地域医療現場に『参加者としての観察者』として参加することができる。 2. 地域医療現場で実際に参与観察を行うことができる。 3. 観察したこと、体験したことを医療人類学の知見を踏まえた形で、フィールドノーツに記述できる。 4. フィールドノーツに記述したことを、eエスノネットに清書版フィールドノーツとして記述することができる。 5. 『学生がいままで持っていた地域医療現場のイメージ』と『実習で参与観察した地域医療現場』の捉え方の変化（同じ点・違う点）を表現することができる（写真・絵・言葉などで）。 6. 学習者のコミュニティとは違う異文化に触れたときの『違和感』をもとに、それまでの『学習者にとつての当たり前』の前提を『それは本当だろうか？』と一度問い直してみるができる。 7. 実際の医療現場の参与観察（学外実習）と、人の生活や活動の観察（学内実習）の捉え方の同じ点と違う点を記述することができる。
他の科目との関連／Prerequisite	本科目は、M1で履修する「基礎地域医療学」において学んだ地域医療の理念および基礎理解を、地域医療現場での体験を通して具体的に理解する科目として位置づけられる。また、本実習で得られた学びは、「臨床地域医療学」における地域医療の実践的理解を深めるとともに、M5-6の臨床実習「地域医療実習」において地域医療を実践的に学ぶための基盤となる。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	参考書： 「地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか」（デザインエッグ社、2022） 「フィールドワークの技法―問いを育てる、仮説をきたえる―」（佐藤郁哉著、新曜社、2002） 「文化人類学の思考法」（松村圭一郎編、世界思想社、2019） 「臨床症例／事例で学ぶ医師・医学生のための人類学・社会学」（ナカニシヤ出版、2021）
授業の形式／Classwork	医療現場におもむくフィールドワークと振り返りのeポートフォリオ記述、およびオリエンテーションとまとめの回の授業によりおこなう。
成績の評価方法と基準 ／Assessment	オリエンテーションにおける提出物、各回のポートフォリオ記載内容、最終ポートフォリオおよび提出されたフィールドノーツの内容を総合して評価する。評価が一定基準に満たない場合には、追加の実習または課題提出を求めることがある。 なお、ポートフォリオ作成等における生成系AIの利用については、医学科の生成AI使用ガイドラインに従うこと。ガイドラインの範囲を超えた利用や、本人の思考および学修成果と認められない提出物については、内容を厳格に確認し、評価対象としない場合がある。

担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	地域医療体験実習は、大学病院とは異なる地域の医療現場に身を置き、医療が人々の生活の中でどのように実践されているかを自分の目で観察し、体験する貴重な機会です。本実習では、医療者の働きだけでなく、患者や地域住民の暮らし、医療と地域社会との関係にも目を向け、自分がこれまで当然と思っていた医療のあり方を問い直してほしいと考えています。現場で感じた疑問や違和感を大切にしながら、地域医療を主体的に学ぶ姿勢で実習に臨んでください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	本授業は、教育グランドデザインが掲げる「現代的教養」と「人間力」の獲得を、地域現場での具体的学習機会として提供する。学生は地域住民・医療関係者と直接関わることで、社会的文脈の理解と専門的視点の統合を体験的に学ぶ。また、地域医療の課題を自ら発見し、地域ニーズへの対応を考察するプロセスを通じて、課題解決力、協働力、社会性・倫理観が涵養される。これにより、大学全体が目指す「社会の中核として活躍できる人材育成」に寄与する科目である。
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	ディプロマ・ポリシーのうち、以下の4つと密に関連する：1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	担当教員は地域医療および総合診療の現場における診療・教育の実務経験を有しており、その経験をもとに地域医療の実際や地域包括ケア、多職種連携の重要性について具体的な実践例を交えながら実習指導を行う。本実習では、地域医療現場での実践を通じて、地域住民の生活を支える医療のあり方を体験的に理解できるよう指導を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [4月1日(水)1-4時限] [431講義室]	地域医療体験に関するワークショップ ／【キーワード】地域医療、参与観察、医療人類学、電子ポートフォリオ	地域医療に対する自分のイメージを振り返り、地域医療において重要になることを自分の言葉でまとめておくこと。	【担当者】地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
2 [4月8日(水)1-4時限] [121講義室]	地域医療体験に関するワークショップ ／【キーワード】地域医療、参与観察、医療人類学、電子ポートフォリオ、公共交通機関	電子ポートフォリオシステムで、先週のレクチャーの資料を入手し、復習しておいてください。	【担当者】地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
3 [4月15日(水)1-4時限] [学外施設講義室]	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う／【キーワード】地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ	オンデマンド型授業を復習して、実習に臨んでください。	【担当者】学外医療機関各施設職員、地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
4 [4月22日(水)1-4時限] [学外施設講義室]	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う／【キーワード】地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ	オンデマンド型授業・1回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して、実習に臨んでください。	【担当者】学外医療機関各施設職員、地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
5 [5月13日(水)1-4時限] [学外施設講義室]	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う／【キーワード】地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ	オンデマンド型授業・1回目、2回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して、実習に臨んでください。	【担当者】学外医療機関各施設職員、地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
6 [5月20日(水)1-4時限] [学外施設講義室]	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う／【キーワード】地域医療、参与観察、地域包括ケア、病院・診療所、電子ポートフォリオ	オンデマンド型授業・1回目、2回目、3回目の実習で自身が記述した電子ポートフォリオを復習して、実習に臨んでください。	【担当者】学外医療機関各施設職員、地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））
7 [5月27日(水)1-4時限] [431講義室]	成果に関するワークショップと総括／【キーワード】グループワーク、プレゼンテーション	オンデマンド型授業/フィールドノーツ・電子ポートフォリオに記述した内容を復習して、総括に臨んでください。	【担当者】地域医療学講座教員／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔（オンデマンド学習））

科目コード／Subject Code	M7208025
ナンバリング／Numbering	MMCLM3101
科目名／Subject Name	PBLチュートリアル
英文科目名／Subject English Name	PBL Tutorial
担当教員／Teacher Name	植木 賢
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	3.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	植木 賢（総合教育棟3階 医学教育学）
オフィスアワー／Office Hours	
担当教員への連絡方法／Contact Details	学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要／Course Description and Outline	
キーワード／Keywords	
到達目標／Objectives	診療参加型臨床実習に対応できる自律的学修能力、問題解決能力を身につける、グループ学修を通じて、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	なし
授業の形式／Classwork	
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	各コースのレポート、小テスト、受講態度を評価する。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	全出席を原則とし、遅刻は厳禁とする。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床医がその経験を生かして、PBLを指導する。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[6/8(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
2[6/9(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
3[6/10(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
4[6/11(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
5[6/12(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7 小テストは431講義室
6[6/15(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
7[6/16(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
8[6/17(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
9[6/18(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
10[6/19(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷ 小テストは431講義室
11[6/22(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
12[6/23(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
13[6/24(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
14[6/25(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔（リアルタイム学習））【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
15[6/26(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷ 小テストは431講義室
16[6/29(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
17[6/30(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
18[7/1(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
19[7/2(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
20[7/3(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷ 小テストは431講義室
21[7/6(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
22[7/7(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
23[7/8(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
24[7/9(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔（リアルタイム学習））【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
25[7/10(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷ 小テストは431講義室
26[7/13(月)4・5時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔（リアルタイム学習））【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
27[7/14(火)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷
28[7/15(水)1・2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照【講義室】ETU2-2 ⁴ /3-2 ⁴ /4-3 ⁷

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
29[7/16(木)2時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照 【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7
30[7/17(金)3・4時限]	各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担して行う。学修内容を発表し、討議する。コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限（祝日の場合は別途指定する）はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。各コースの最終時限には小テスト（431）を行う。／【キーワード】	コース毎に出題される問題を、自習時間等を活用し、個人や必要に応じて班内で調査する。コース毎の最終日に行われる小テストを活用し、各コースの関連する事項について復習を行う。	【担当者】手引参照・手引参照 【講義室】ETU2-2~4/3-2~4/4-3~7 小テストは431講義室

科目コード／Subject Code	M7208058
ナンバリング／Numbering	MMCUM3001
科目名／Subject Name	臨床地域医療学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	孫 大輔
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	木 1
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	0.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	孫 大輔（地域医療学）：科目責任者 谷口 尚平（地域医療学） 谷口 晋一（地域医療学） 金 弘子（環境予防医学） 横田 雄也（岡山大学） 松下 明（奈義ファミリークリニック）
オフィスアワー／Office Hours	9:00～17:00（地域医療学講座教員室）。事前にメールで連絡すること。
担当教員への連絡方法／Contact Details	0859-38-6661（地域医療学講座）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	授業の目的：地域医療の現場における実践を通して、地域住民の生活を支える医療の役割を理解し、患者の生活背景や地域社会との関わりを踏まえた診療の視点を身につけることを目的とする。また、総合診療・家庭医療の理念および実践に触れることで、地域包括ケアを担う医療人として求められる基本的姿勢と理解を養う。 概要：本授業では、地域の医療機関や関連施設における実践や講義を通して、地域医療の実際および地域包括ケアの仕組みについて学ぶ。総合診療・家庭医療の役割、多職種連携、在宅医療、地域住民との関わりなどを具体的事例を通して理解し、医療が地域社会の中でどのように機能しているかを体験的に学修する。これにより、将来どの専門分野に進む場合でも必要となる地域志向の視点と実践的理解を深める。
キーワード／Keywords	地域医療、地域包括ケア、総合診療、家庭医療、多職種連携、在宅医療、地域志向性、プライマリ・ケア、住民中心の医療、地域保健医療福祉連携
到達目標／Objectives	地域医療の役割および地域包括ケアの仕組みについて説明できる。 地域の医療・保健・福祉資源とそれらの連携の実際について理解し説明できる。 総合診療・家庭医療の理念および地域医療における役割を理解し説明できる。 患者の生活背景や地域社会との関わりを踏まえて医療を考える視点を身につける。 多職種および地域住民と協働して地域医療を支える重要性を理解できる。 地域医療の現場で得た学びや課題を整理し、自らの将来の医療実践に結びつけて考察できる。
他の科目との関連／Prerequisite	本科目は、M1で履修する「基礎地域医療学」において学ぶ地域医療の理念および基礎理解を発展させ、地域医療の実際を学ぶ科目として位置づけられる。また、M4の「地域医療体験」と相互に関連しながら地域医療への理解を深化させるとともに、本科目で得られた学修は、M5-6に実施される臨床実習「地域医療実習」における実践的診療能力の基盤となる。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	「地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか」（デザインエッグ社、2022年） ※できるだけ各自、購入すること
授業の形式／Classwork	対面授業およびオンデマンド講義による。
成績の評価方法と基準 ／Assessment	毎回の講義受講後、manabaにて公開する指定シートにレポートを記入すること。提出内容の複製・流用は認めない。指定された期限までに必ず入力を完了すること。定期試験は実施せず、各講義における課題レポートの内容により総合的に評価する。 なお、生成系AIの利用については本学が定める生成系AI利活用ガイドラインに従うこと。ガイドラインの範囲を超えた利用や、本人の学修成果と認められない提出物については、内容を厳格に確認し、評価対象としない場合がある。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	地域医療の現場では、患者さんの病気だけでなく、その人の生活、家族、地域社会とのつながりを含めて理解し支えることが求められます。本授業では、地域の医療現場における実践を通して、医療が地域の中でどのような役割を担っているのかを体験的に学ぶとともに、総合診療・家庭医療の視点から、患者を継続的・包括的に支える診療のあり方について理解を深めます。診療所や地域病院、多職種や住民との関わりを通じて、地域で暮らし続けることを支える医療の意義を考え、将来どの専門分野に進むとしても必要となる地域志向の視点を身につけてほしいと考えています。地域医療の現場での気づきや疑問を大切にしながら、主体的に学ぶ姿勢で参加してください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	本授業は、本学教育グランドデザインが掲げる「現代的教養」および「人間力」の育成と関連する科目である。地域医療の現場での学修を通して、医療が地域社会や生活環境と密接に関わることを理解し、専門知識を地域の課題に応用する力を養う。また、総合診療・家庭医療の実践に触れることで、患者を生活背景を含めて理解し支える視点を身につけ、多職種や地域住民との協働を通じて協働力および医療人としての倫理観と社会性を培う。本科目は、地域社会に貢献できる医療人として必要な実践的能力を養成する科目として位置づけられる。
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	ディプロマ・ポリシーのうち、以下の4つと密接に関連する：1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	担当教員は地域医療および総合診療の現場での診療経験を有しており、その実務経験をもとに地域医療の実際や多職種連携の課題について具体的事例を交えて授業を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[6/4(木)1時限]【431講義室】	地域医療学・プライマリケア総論／【キーワード】地域医療、総合診療、家庭医療学、プライマリケア	地域医療学の定義・理念（地域医療とは何か）を学習する。「地域医療学ハンドブック」第1～3章を予習および復習にあてること。	【担当者】地域医療学・孫 大輔／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
2[6/4(木)2時限]【431講義室】	生物心理社会モデルと複雑性へのアプローチ／【キーワード】地域医療、家庭医療学、プライマリケア、生物心理社会モデル（BPSモデル）、複雑性・不確実性への対処	総合診療医が実践する生物心理社会モデルと複雑性・不確実性へのアプローチについて学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること。	【担当者】地域医療学・谷口 尚平／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
3[6/11(木)1時限]【431講義室】	患者中心の医療の方法／【キーワード】患者中心の医療、疾患（Disease）と病い（Illness）、コンテキスト、解釈モデル（説明モデル）、共通の理解基盤	患者中心の医療の実践モデルである「患者中心の医療の方法（PCCM）」について、事例に基づいて学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること。	【担当者】岡山大学（非常勤講師）・横田 雄也／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
4[6/18(木)1時限]【431講義室】	プライマリケアと家庭医療／【キーワード】家庭医療学、プライマリケア、患者中心の医療の方法、家族志向のケア、行動変容アプローチ	家庭医療の概念と方法論（PCCM、家族志向のケア、行動変容アプローチ）を学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること。	【担当者】奈義ファミリークリニック（非常勤講師）・松下 明／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
5[6/25(木)1時限]【431講義室】	地域志向のプライマリケア／【キーワード】地域志向性アプローチ、地域包括ケア、在宅ケア、地域診断、社会的処方	総合診療医が実践する地域志向性アプローチを学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてること。	【担当者】地域医療学・孫 大輔／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
6[7/2(木)1時限]【431講義室】	地域医療学各論・地域医療の教育／【キーワード】地域医療教育、学習の方法、内省的実践	地域医療およびへき地医療の実践について理解を深めるとともに、地域医療をどのように学ぶべきかについて考察する。「地域医療学ハンドブック」第6章および第8章の該当部分を予習および復習にあてること。	【担当者】地域医療学・谷口 晋一／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
7[7/9(木)1時限]【431講義室】	地域医療における健康の社会的要因／【キーワード】SDH (Social Determinants of Health)	地域に住む多様な背景（性別、年齢、文化、社会的状況など）を持つ人々が医療機関を受診するまでのプロセスについて理解を深める。「地域医療学ハンドブック」のSDHの部分（78-79頁）および日本プライマリ・ケア連合学会「健康格差に対する見解と行動指針」(https://www.primary-care.or.jp/sdh/)を予習・復習にあてる	【担当者】環境予防医学・金 弘子／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）
8[7/16(木)1時限]【431講義室】	臨床地域医療学まとめ／【キーワード】地域医療、総合診療、家庭医療学、プライマリケア	これまでの臨床地域医療学の学修内容を振り返り、地域医療について学んだことや自らの理解の変化について整理して授業に臨むこと。授業後は、地域医療において求められる医師の役割や今後の臨床実習で意識すべき点について振り返り、自身の今後の学修目標を明確にする。	【担当者】地域医療学・孫 大輔／（対面可：対面、対面不可：パターン2遠隔(オンデマンド学習)）

科目コード／Subject Code	M7205047
ナンバリング／Numbering	MMSOM3101
科目名／Subject Name	社会医学チュートリアル・実習
英文科目名／Subject English Name	Tutorial and Practical Education of Social Medicine
担当教員／Teacher Name	尾崎 米厚, 森田 明美, 天野 宏紀, 飯野 守男, 中留 真人, 黒沢 洋一, 金城 文, 増本 年男, 桑原 祐樹, 金 弘子
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	実験実習
単位数／Unit Count	2.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹（環境予防医学、総合研究棟6階） 森田 明美、天野 宏紀、増本 年男（健康政策医学、総合研究棟6階） 飯野 守男、中留 真人（法医学、総合研究棟7階）
オフィスアワー／Office Hours	尾崎 米厚（4・5月：火曜日午前、6・7月：木曜日午前、9・10月：月曜日午後）、森田 明美（水曜日・木曜日17：00～18：00）、飯野 守男（月曜日・火曜日・木曜日 16：30～18：00）、天野 宏紀（4・5月：火曜日午前、6・7月：木曜日午前、9・10月：月曜日午後）、中留 真人（水曜日 3時限）、金城 文（4・5月：火曜日午前、6・7月：木曜日午前、9・10月：月曜日午後）、増本 年男（4・5月：火曜日午前、6・7月：木曜日午前、9・10月：月曜日午後）、桑原 祐樹（4・5月：火曜日午前、6・7月：木曜日午前、9・10月：月曜日午後）
担当教員への連絡方法／Contact Details	担当教員が所属する研究室の電話番号は以下となります。 環境予防医学分野（0859 - 38 - 6103）、健康政策医学（0859 - 38 - 6113）、法医学（0859 - 38 - 6123） 各担当教員のメールアドレスは実習マニュアルで提示する。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	地域保健、地域医療、産業保健、学校保健、法医学をはじめとする社会医学的テーマについて、文献的な検討をしたり、現場（フィールド）に出かけたりして、地域在住の住民やそれに関わる人々、専門家などに直接接しつつ、社会医学的な知識やアプローチ法、また課題などを学び習得することを目的にする。本実習は、主としてチュートリアル方式で学ぶことに意義があり、チームワーク良く、相互に議論して学習を深められたい。以下のようなことを参照されたい。 1．現代のわが国における、医師の社会的使命が何であるかを十分に自覚し、たとえ基礎医学または臨床的専門分化領域に専従した場合においても社会医学的素養を有した「在るべき医師像」に向かって、生涯にわたって研修していく意欲と、かつそれを実行できる基本的能力（基本的知識・技能・態度）を養う必要がある。 2．将来医師として診療（保健指導を含む）に従事する場合、固有の知識・技能で対処すると共に、広く全人的な視野をもって受診者、患者、家族、住民、職員に接し、その人の置かれている社会・経済・文化的側面も含めて理解することのできる基礎的能力を養う必要がある。 3．人間社会・集団における様々な健康・疾病の状況を数量的に把握し、かつその要因の解明、対策の樹立について社会医学的視点から理解することのできる基礎的能力を養う必要がある。 4．地域保健医療活動の様々な場面において、医師は他の保健医療職種を含めたチームで活動することが必須で、医学関連諸機関・行政活動とも密接に関与していることを十分に認識でき、かつこれらの組織を積極的に活用していくことのできる基礎的能力を養う必要がある。
キーワード／Keywords	地域保健、地域医療、産業保健、学校保健、法医学、社会医学、チュートリアル、社会医学的視点、全人的な視野、チームワーク、調査研究方法論、フィールドワーク
到達目標／Objectives	・社会医学的テーマについて文献的な検討ができる。 ・フィールドワークやインタビューから、実態の把握、課題の抽出、対策の提案ができる。 ・一緒に活動する班員と良好なコミュニケーションがとれる。
他の科目との関連／Prerequisite	当科目の基礎知識は、社会環境医学（医学科2年次）、疫学と予防医学（医学科3年次）、法医学（医学科4年次）に含まれています。実習を行う上で必要な倫理面については、生命倫理（医学科2年）で履修しています。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	開講前に実習マニュアルを配布しますので、参照してください。 各テーマの担当教員の指示に従ってください。
授業の形式／Classwork	実習方法の説明（5%）、演習・グループ学習形式（85%）、学内発表会（10%） 演習・グループ学習の内容については、各テーマにより異なるため、実習マニュアルを参照ください。
成績の評価方法と基準 ／Assessment	実習点（出席、実習態度、活動内容）90%、学内発表会への出席と各テーマ発表に対する感想10%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	各担当教員が設定したテーマに沿った実習・演習を行います。各学生は一つのテーマの班に所属し実習・演習を行います。全てのテーマは開講前に提示され、初回の講義で各担当教員がテーマの内容を説明したのちに、学生間で各自が所属するテーマ班を話し合いの上決定してもらいます。開講前に実習マニュアルを配布しますので、そちらも参照してください。すべてのテーマが実社会の課題と直結したテーマであり、将来医師として働く上で重要な学びが得られることと思います。積極的に参加し、多くの学びを得てください。

授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	初回にオリエンテーションがあり、その後、選択したテーマについて、各班にわかれて実習を行います。35～38回目は行った実習内容について、学年内で学びを共有するため、学内で発表会を行います。
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	自治体、機関、企業で関連分野に関わる教員が各自の専門分野に関する実習をおこなう。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1・2[4/14 (火)3,4時限] 【431講義室】	オリエンテーション／【キーワード】実習方法、社会医学の概要、実習班分け【3限は431講義室、4限は各班チュートリアル室】	実習テーマの説明を熟読し、所属する実習班の調整をおこなうこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
3・4[4/21 (火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査研究方法論	選択した実習テーマについて調べ学習を行うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
5・6[4/28 (火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
7・8[5/12 (火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
9・10[5/19 (火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
11・12[5/26(火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
13・14[6/2 (火)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
15・16[6/4 (木)3,4時限] 【ETU2-3~8, ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
17・18[6/11(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
19・20[6/18(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
21・22[6/25(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
23・24[7/2(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
25・26[7/9(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
27・28[7/16(木)3,4時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（講義室は各班担当教員に確認してください。）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
29・30[9/7(月)1, 2時限] 【ETU2-3~8,ETU3-3~13】	各班にわかれて実習（ETU2-3~8、ETU3-3~13、ETU4-3~7）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））
31・32[9/14(月)1, 2時限] 【322,ETU4-1~7】	各班にわかれて実習（322,ETU2-3~4、4-1~4-7）／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／（対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔（リアルタイム学習））

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
33・34[9/28(月)1,2時限] 【322, ETU4-1～7】	各班にわかれて実習(322, ETU4-1～4-7)／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	各実習班の担当教員の指示に従うこと	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
35・36[10/5(月)1,2時限] 【122】	発表会(122講義室)／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	発表があった内容について、レポートをmanabaに提出する。	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))
37・38[10/8(木)1,2時限] 【122】	発表会(122講義室)／【キーワード】調査、実験、データ解析、資料整理、分析	発表があった内容について、レポートをmanabaに提出する。	【担当者】健康政策医学・森田 明美、天野 宏紀、増本 年男、環境予防医学・尾崎 米厚、金城 文、桑原 祐樹、法医学・飯野 守男、中留 真人／(対面可：対面、対面不可：パターン3遠隔(リアルタイム学習))

科目コード／Subject Code	M7206100
ナンバリング／Numbering	MXCLM3001
科目名／Subject Name	老年医学
英文科目名／Subject English Name	Clinical Medicine (Geriatrics)
担当教員／Teacher Name	花島 律子, 加藤 克, 瀧川 洋史, 大倉 毅, 小谷 昌広, 野中 喬文, 村上 丈伸, 磯本 一
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修または選択必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	0.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	花島 律子（脳神経内科学）
オフィスアワー /Office Hours	
担当教員への連絡方法 /Contact Details	脳神経内科医局（電話 0859-38-6757）
授業の目的と概要 /Course Description and Outline	
キーワード /Keywords	生活習慣病、動脈硬化症とその危険因子、糖尿病、甲状腺の老化
到達目標 /Objectives	高齢者の特性を理解し、老化と関連した主要疾患について説明できる
他の科目との関連 /Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	老年医学テキスト改訂3版、日本老年医学会編、2008年、メジカルレビュー社
授業の形式 /Classwork	
成績の評価方法と基準 ／Assessment	定期試験 100%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 /Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[9/8 (火)5時限] 【 431講義室】	老化と悪性腫瘍／【キーワード】疫学、 化学療法、手術療法、放射線治療、緩和 医療	授業で扱うテーマを参照し予習すること 。講義後は講義内容のポイントをノート にまとめ復習すること。	【担当者】 がんセンタ ー・小谷 昌広／（対面 可：対面、対面不可：パ ター2遠隔(オンデマンド 学習)）
2[9/11 (金)1時限] 【 431講義室】	老化と消化器疾患（総論）／【キーワー ド】老化と消化器（総論）	高齢者の特徴	【担当者】 消化器・腎 臓内科学・荻原 諒平 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン2遠隔(オン デマンド学習)）
3[9/15 (火)1時限] 【 431講義室】	老化と呼吸器障害／【キーワード】高齢 者肺炎、誤嚥、嚥下反射、咳反射、ワク チン	高齢者に肺炎が起きやすい理由について 予習し、その対処法や機序について復習 してください。	【担当者】 高次集中治 療部・野中 喬文／（対 面可：パターン2遠隔(オン デマンド学習)、対面不 可：パターン2遠隔(オンデ マンド学習)）
4[9/18 (金)1時限] 【 431講義室】	総論／【キーワード】高齢者、老年学と 老年医学、老化の定義と学説、遺伝的早 老症、健康寿命	老化、高齢者の定義 評価の方法など	【担当者】 脳神経内科 学・花島 律子／（対面 可：対面、対面不可：パ ター2遠隔(オンデマンド 学習)）
5[9/29 (火)5時限] 【 431講義室】	老化と循環器・代謝障害／【キーワード 】生活習慣病、動脈硬化症とその危険因 子、糖尿病、甲状腺の老化	高齢者の糖尿病コントロール基準、内分 泌疾患の症状	【担当者】 第一内科診 療科群・大倉 毅／（対 面可：対面、対面不可 ：パターン2遠隔(オンデマ ンド学習)）
6[10/5 (月)5時限] 【 431講義室】	老化と循環器・代謝障害／【キーワード 】循環器疾患の生理的・病的老化、心臓 の老化、不整脈、心筋梗塞、心不全、閉 塞性動脈硬化症	健康寿命と平均寿命の違いを予習し、高 齢者における循環器疾患の特徴を復習し てください。	【担当者】 第一内科診 療科群・加藤 克／（対 面可：パターン2遠隔(オン デマンド学習)、対面不 可：パターン2遠隔(オンデ マンド学習)）
7[10/14 (水)5時限] 【 431講義室】	老化と神経障害／【キーワード】加齢に よる神経系の変化、高齢者の神経疾患 （各論）	老化による脳血管障害、認知症、神経変 性疾患への影響を理解する	【担当者】 脳神経内科 学・村上 丈伸／（対面 可：対面、対面不可：パ ター2遠隔(オンデマンド 学習)）
8[10/19 (月)1時限] 【 131講義室】	老化と消化器疾患（各論）／【キーワー ド】老化と消化器（各論）	高齢者の消化器疾患の特徴	【担当者】 消化器・腎 臓内科学・荻原 諒平 ／（対面可：対面、対面 不可：パターン2遠隔(オン デマンド学習)）

科目コード／Subject Code	M7208059
ナンバリング／Numbering	MMINF3001
科目名／Subject Name	医療情報学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	寺本 圭, 難波 大輔
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	水 1, 水 2
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	寺本 圭（医療情報部）
オフィスアワー ／Office Hours	月曜日の午後 ※事前にメールでご連絡ください。
担当教員への連絡方法 ／Contact Details	kei@tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要 ／Course Description and Outline	本授業では、医療現場において情報がどのように扱われ、診療、研究、病院運営等に活用されているかを学ぶ。あわせて、診療録、電子カルテ、医療情報システムの基本的な仕組みを理解し、医療従事者として必要な個人情報保護、法令遵守、情報倫理に関する基礎知識を身につけることを目的とする。講義では、医療情報の基本概念、医療情報システムの構成、診療情報の記録と管理、個人情報保護法や関連法規の考え方などを取り上げ、医療における情報活用の意義と課題について学修する。
キーワード ／Keywords	医療情報、個人情報保護、診療録、電子カルテ、医療情報システム、情報倫理
到達目標 ／Objectives	医療における情報活用の意義と基本的な考え方を説明できる。 個人情報保護法、医師法等の関連法令の概要を理解できる。 診療録および電子カルテの役割と基本的な構造を理解できる。 医療情報の適切な取り扱いについて説明できる。 医療現場における情報活用の課題について考察できる。
他の科目との関連 ／Prerequisite	医学・医療の基礎的理解を前提として、医療倫理、社会医学、臨床実習等に関連する。医療現場における法令遵守や情報の適切な取り扱いを学ぶ基礎科目として位置づけられる
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	・岩波新書 869 著作権の考え方 岡本薫 ・個人情報保護法ガイドライン ・医師法 ・個人情報保護法 ・保険医療機関及び保険医療療養担当規則 ・医療情報 医療情報システム編
授業の形式 ／Classwork	講義形式で実施する。必要に応じて、実際の診療録や電子カルテ運用を想定した事例紹介を交えながら解説する。
成績の評価方法と基準 ／Assessment	試験50% 出席50%
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	医療における情報の扱いは、日常診療、研究、地域連携など幅広い場面で重要です。本授業では、単なる知識の暗記ではなく、医療者として適切に情報を扱うための基本的な考え方を身につけてほしいと思います。医療情報は将来どの分野に進んでも関わる重要なテーマですので、実際の医療現場を意識しながら学んでください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	医療情報とは何か 医療における情報活用の意義 診療録の役割と記載の基本 電子カルテの概要と機能 医療情報システムの基礎 個人情報保護法の概要 医師法および関連法規 情報倫理と守秘義務 医療現場における情報共有と連携 医療情報の安全管理 医療分野におけるAIの活用 AIによる医療システム開発の現状 事例を通じた医療情報の課題整理 まとめ

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	無
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	なし

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [9/10(木)1限] 【431】	医療情報学概説／【キーワード】医療情報	医療情報学の目的について理解する	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
2 [9/10(木)2限] 【431】	個人情報保護概要／【キーワード】個人情報保護法	医療で取り扱われる個人情報について理解する	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
3 [9/11(金)2限] 【431】	電子カルテシステム／【キーワード】電子カルテ 3 原則	電子カルテシステムについて理解する	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
4 [9/17(木)1限] 【431】	医療安全と病院情報システムⅠ／【キーワード】医療安全、インシデントレポート	医療情報システムを活用したヒューマンエラー対策について理解する	【担当者】医療情報学・関根 悟／（対面可：対面）
5 [9/17(木)2限] 【431】	医療安全と病院情報システムⅡ／【キーワード】医療安全、インシデントレポート	医療情報システムを活用したヒューマンエラー対策について理解する	【担当者】医療情報学・関根 悟／（対面可：対面）
6 [9/18(金)2限] 【431】	医療安全と病院情報システムⅢ／【キーワード】医療安全、インシデントレポート	医療情報システムを活用したヒューマンエラー対策について理解する	【担当者】医療情報学・関根 悟／（対面可：対面）
7 [9/29(火)2限] 【431】	診療情報における看護記録Ⅰ／【キーワード】医療安全、電子カルテ	看護記録について理解する	【担当者】医療情報学・渡邊 仁美／（対面可：対面）
8 [9/30(水)1限] 【431】	診療報酬制度における看護記録Ⅱ／【キーワード】医療安全、電子カルテ	看護記録について理解する	【担当者】医療情報学・渡邊 仁美／（対面可：対面）
9 [9/30(水)2限] 【431】	医療情報システムとユーザビリティ／【キーワード】ユーザビリティ・PHR	医療情報とユーザビリティ・PHRの関係について理解できる	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
10 [10/6(火)2限] 【131】	地域連携ネットワーク／【キーワード】地域連携	地域連携システムについて理解し問題点を把握する	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
11 [10/7(水)2限] 【131】	医療分野におけるAIの実装と活用／【キーワード】人工知能、機会学習	機会学習について理解する	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
12 [10/13(火)2限] 【131】	医療情報学まとめⅠ／【キーワード】個人情報保護、電子カルテの三原則	医療情報学について理解する	【担当者】医療情報部・寺本 圭／（対面可：対面）
13 [10/15(木)1限] 【131】	医療情報学まとめⅠ（試験・持ち込み可）／【キーワード】	医療情報学の講義内容を試験する（出席必須・講義時間内に試験あり）	【担当者】医療情報学・寺本 圭／（対面可：対面）
14 [10/15(木)2限] 【131】	人工知能基礎：認知科学とニューラルネットワークについて【キーワード】ニューラルネットワーク	脳内での情報処理を工学の視点で理解する（出席必須・講義時間内にレポート提出あり）	【担当者】岩手県立大学・眞田 尚久／（対面可：対面）
15 [10/16(金)1限] 【122】	人工知能基礎：認知科学とニューラルネットワークについて【キーワード】ニューラルネットワーク	脳内での情報処理を工学の視点で理解する（出席必須・講義時間内にレポート提出あり）	【担当者】岩手県立大学・眞田 尚久／（対面可：対面）

科目コード／Subject Code	M7208060
ナンバリング／Numbering	MMCLM3019
科目名／Subject Name	臨床医学特論
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	今村 武史, 森田 明美, 倉吉 和夫, 尾崎 充彦, 尾崎 米厚, 三明 淳一郎, 大槻 明広, 香月 康宏, 金城 文, 梶谷 直史, 平 憲吉郎, 遠藤 佑輔, 砂田 寛司, 山下 太郎, 桑原 祐樹, 里深 博幸
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	薬理学・薬物療法学教室 (総合研究棟4階)
オフィスアワー／Office Hours	火曜日 16:30-18:00 下記メールアドレスまで、事前のアポイントをお願いします
担当教員への連絡方法／Contact Details	下記へメールでご連絡ください 今村武史 <timamura@tottori-u.ac.jp>
授業の目的と概要／Course Description and Outline	本科目では、「一般的医療の限界に対して我々は何ができるのか？」に関する4テーマを学習する
キーワード／Keywords	漢方医学、緩和医療、基礎医学研究、創薬研究、臨床試験・治験、疫学研究
到達目標／Objectives	臨床医学の重要テーマについて要点を説明できる
他の科目との関連／Prerequisite	臨床科目の各講義を理解した上で受講することが望ましい
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	漢方医学：「基本がわかる漢方医学講義(羊土社)」 他は各講義において適宜紹介する
授業の形式／Classwork	講義、グループワーク
成績の評価方法と基準／Assessment	100点満点評価 レポートあるいはオンライン試験評価：100%
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	系統講義では十分な学習ができない重要テーマを学習します
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	別枠に記載
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	本学が教育グランドデザインで定める以下の「現代的教養」と「人間力」の要素に該当します ・現代的教養(特定の専門分野に関する理解) ・人間力(自律性に基づく実行力、高い倫理観と市民としての社会性)
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	本学のディプロマ・ポリシーのうち、以下の項目に該当します 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性／Relationship between the work experience and the course	現役の医師あるいは医療関係者がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [9/8 (火) 2時限] 【431講義室】	基礎研究から医薬品開発まで／【キーワード】基礎研究、研究シーズ、橋渡し研究、臨床研究、治験	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】今村 武史（薬理学・薬物療法学）／対面講義
2 [9/8 (火) 4時限] 【431講義室】	医薬品開発と研究倫理、医療事故・薬害／【キーワード】ヘルシンキ宣言、ジュネーブ宣言、医の倫理、医療事故、薬害、被験者・患者の権利、薬機法	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】今村 武史（薬理学・薬物療法学）／対面講義
3 [9/9 (水) 1時限] 【431講義室】	緩和医療におけるチーム医療／【キーワード】チーム医療、メディカルスタッフ、緩和ケア病棟、在宅医療	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】倉吉 和夫（がんセンター 緩和ケア科）／対面講義
4 [9/9 (水) 2時限] 【431講義室】	緩和医療の概念と歴史、症状管理／【キーワード】緩和ケア、嘔気、便秘、腹水、呼吸困難、胸水、腹水、全身倦怠感	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】倉吉 和夫（がんセンター 緩和ケア科）／対面講義
5 [9/15 (火) 2時限] 【431講義室】	医療を変える小さな核酸分子／【キーワード】microRNA、non-coding RNA、エクソソーム、Liquid biopsy、核酸医薬	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】尾崎 充彦（実験病理学）／対面講義
6 [9/16 (水) 1時限] 【431講義室】	緩和医療における精神症状管理／【キーワード】精神腫瘍学、不眠、不安、抑うつ、せん妄、スピリチュアルペイン	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】梶谷 直史（精神科）／対面講義
7 [9/16 (水) 2時限] 【431講義室】	生薬と漢方処方／【キーワード】生薬、方剤、証、気血水、五臓、六病位	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】今村 武史（薬理学・薬物療法学）／対面講義
8 [9/24 (木) 1時限] 【431講義室】	緩和医療における疼痛管理／【キーワード】オピオイド、NSAIDs、鎮痛補助薬、神経ブロック	〈予習〉疼痛緩和法について右欄のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉緩和医療における疼痛管理について講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】大槻 明広（麻酔科）／対面講義
9 [9/24 (木) 2時限] 【431講義室】	症状緩和における漢方薬と鍼灸／【キーワード】気血水、気虚、気滞、血虚、瘀血、水毒、経絡、経穴、補、瀉	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】大槻 明広（麻酔科）／対面講義
10 [9/25 (金) 2時限] 【431講義室】	臨床研究デザインと薬剤疫学／【キーワード】疫学研究方法論、薬剤疫学、市販後サバイランス、治療必要数（NNT）、安全性研究、有効性研究、ネステッド・ケース・コントロール研究、ケース・コホート研究、有名な臨床試験・治験の事例	〈予習〉「臨床試験」という単語がでてくるニュースを検索し、どのような内容が注目されたのかを把握しておく。〈復習〉配布資料を振り返り医薬品開発に関係の深い臨床疫学的な研究方法を説明できるようにする。	【担当者】尾崎 米厚（環境予防医学）／対面講義
11 [10/1 (木) 1時限] 【122講義室】	GCPとIRB／【キーワード】ICH、GCP、治験実施計画書、治験責任医師、CRC、科学的・倫理的妥当性	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】遠藤 佑輔（研究推進機構・URA本部）／対面講義
12 [10/1 (木) 2時限] 【122講義室】	臨床試験・治験と薬効評価／【キーワード】Ⅰ～Ⅳ相試験、バイアス、プラセボ、ランダム化、DBT、企業・医師主導治験	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】砂田 寛司（新規医療研究推進センター 臨床研究支援部門）／対面講義
13 [10/2 (金) 1時限] 【122講義室】	公衆衛生全般（CBT対策）／【キーワード】公衆衛生と健康の概念、医の倫理と患者の権利、医師法と関係法規、診療情報と各種証明書、終末期医療と死の概念、母子保健、学校保健、思春期保健、障害者福祉、精神保健福祉、感染症対策、栄養・食品保健、国際保健	〈予習〉CBTの問題集をみて、どのような問題が今までに出題されているかを確認する。〈復習〉CBTの過去問のいくつかを解いてみて自分の学力を確認する。	【担当者】金城 文（環境予防医学）／対面講義
14 [10/2 (金) 2時限] 【122講義室】	医療経済学、公衆衛生全般（CBT対策）／【キーワード】医療経済学（市場の失敗、情報の非対称、費用対効果、コクランレビューなど）、社会保障、医療法と医療体制、医療の質と安全、地域保健、成人保健と健康増進、高齢者保健、産業保健、環境保健	〈予習〉CBTの問題集をみて、どのような問題が今までに出題されているかを確認すること。〈復習〉CBTの過去問のいくつかを解いてみて自分の学力を確認する。	【担当者】桑原 祐樹（環境予防医学）／対面講義
15 [10/9 (金) 2時限] 【122講義室】	糖尿病の臨床～基礎研究／【キーワード】2型糖尿病、インスリン抵抗性・分泌、エクソソーム、トランスレーショナルリサーチ、MD-PhD	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】大倉 毅（第一内科）／対面講義
16 [10/14 (水) 1時限] 【122講義室】	医療統計の基礎（1）／【キーワード】母集団と標本、因果関係、死亡率、罹患率、有病率、相対危険、寄与危険、オッズ比、交絡、誤差、バイアス	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】森田 明美（健康政策医学）／対面講義
17 [10/14 (水) 2時限] 【122講義室】	医療統計の基礎（2）／【キーワード】記述統計、仮説検定、P値、有意水準、信頼区間、多変量解析、線形回帰、ロジスティック回帰、比例ハザードモデル、生存分析	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】森田 明美（健康政策医学）／対面講義
18 [10/19 (月) 2時限] 【131講義室】	現代医療における漢方の役割／【キーワード】神農本草経、黄帝内経、傷寒論	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】三谷 和男（薬理学・薬物療法学 非常勤講師）／対面講義

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
19 [10/20 (火) 2時限]] 【131講義室】	遺伝子治療の最前線／【キーワード】ウイルスベクター、遺伝性疾患、がん、GMP、カルタヘナ法、拡散防止措置	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】中村 貴史（ゲノム医療学）／対面講義
20 [10/21 (水) 1時限]] 【122講義室】	日常診療における漢方医学の活用／【キーワード】プライマリ・ケア、総合診療、証	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】植田 圭吾（薬理学・薬物療法学 非常勤講師）／対面講義
21 [10/21 (木) 2時限]] 【122講義室】	がん免疫療法の基礎と創薬開発／【キーワード】がん微小環境、がん間質細胞、免疫チェックポイント阻害剤、スクリーニング、ドラッグリポジショニング	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】土谷 博之（再生医療学）／対面講義
22 [10/22 (木) 1時限]] 【122講義室】	癌治療に対する漢方薬の効果／【キーワード】生薬、気血水、虚実、陰陽	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行うこと。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】平 憲吉郎（耳鼻咽喉・頭頸部外科）／対面講義
23 [10/22 (木) 2時限]] 【122講義室】	女性診療に対する東洋医学の活用／【キーワード】陰陽、五行、気血水、漢方薬	〈予習〉授業内容のキーワードを用いて予習を行う。〈復習〉講義時の配布資料を中心に復習すること。	【担当者】柳楽 慶（女性診療科（産婦人科））／対面講義

科目コード／Subject Code	M7208026
ナンバリング／Numbering	MMCLM3102
科目名／Subject Name	臨床実習入門
英文科目名／Subject English Name	Clinical Medicine (Introduction to Clinical Internship)
担当教員／Teacher Name	植木 賢, 波多野 将, 田中 雄悟, 山崎 章, 谷口 雄司, 山田 七子, 八島 一夫, 榎田 誠, 本間 正人, 瀧川 洋史, 高橋 洋一, 高野 周一, 小山 哲史
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	4.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	植木 賢（学部教育支援室）
オフィスアワー /Office Hours	月曜日16時30分～18時 ※来られる際には、事前連絡をお願いいたします。
担当教員への連絡方法 /Contact Details	0859-38-6438（学部教育支援室）
授業の目的と概要 /Course Description and Outline	I. 学習目標 A. 一般目標 診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）に必要な臨床技能を実地修練する。 B. 行動目標 ① 医師として望ましい態度で患者に接することができる。 ② 面接技法を使うことができる。 ③ 全身の診察ができる。 ④ 基本的臨床手技（採血，外科基本手技，心電図，心肺蘇生を含む）を実施できる。 ⑤ 病歴と身体所見を正しく記載し，問題点を抽出，列挙できる。 ⑥ 医師としてのキャリアについて考えることができる。 II. 内容 ① 講義：全21コマ ② 実習：全32コマ ③ 模擬OSCE：8コマ
キーワード /Keywords	臨床実習 OSCE
到達目標 /Objectives	診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）に必要な臨床技能を実地修練する
他の科目との関連 /Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	臨床実習入門の手引、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目を講義中に配布する。
授業の形式 /Classwork	講義及び演習
成績の評価方法と基準 ／Assessment	全出席を原則とし、レポート、実習態度を評価する。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	聴診器、ペンライト、打腱器、手袋、ガウン、白衣、腕時計等秒計測ができるもの、筆記用具、筆記ボードを各自で準備すること。

授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	授業内容： 実習第1クール（14～21回） ・医療面接：ETU2-5~8 ・胸部診察：S1 ・全身状態とバイタルサイン：S1 ・神経診察：S（神） ・基本的臨床手技・感染対策：SC ・頭頸部診察：S2 ・腹部診察：S3 ・四肢と脊柱：ETU3-10~13 ・救急蘇生：ETU3-5~9 各班に分かれて実習を行う。 実習第2クール（22～29回） ・医療面接：ETU2-5~8 ・胸部診察：S1 ・全身状態とバイタルサイン：S1 ・神経診察：S（神） ・基本的臨床手技・感染対策：SC ・頭頸部診察：S2 ・腹部診察：S3 ・四肢と脊柱：ETU3-10~13 ・救急蘇生：ETU3-5~9 各班に分かれて実習を行う。（30～33回） 模擬OSCE 予習・復習内容： 予習：実習内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」を参考にイメージしておくこと。 復習：各自、シミュレーションセンターの機器も活用して、繰り返し実践すること。 担当者： 「臨床実習入門の手引」参照
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探究と解決力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床医がその経験を生かして、臨床技能の指導を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/23(木)5時限] 【431講義室】	抗体検査およびワクチン接種／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】医学教育学・植木賢
2[6/5(金)4時限] 【431講義室】	キャリア教育／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】卒後臨床研修センター・山田 七子
3[9/7(月)3・4時限] 【431講義室】	医療安全／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】医療安全管理部・谷口 雄司
4[9/8(火)3時限] 【431講義室】	全身状態とバイタルサイン／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】呼吸器・乳腺内分秘外科学・田中雄悟
5[9/9(水)3時限] 【431講義室】	キャリア教育／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】非常勤講師・片岡 仁美
6[9/9(水)4時限] 【431講義室】	胸部診察／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】循環器・内分泌代謝学・松原剛一
7[9/10(木)3・4時限] 【431講義室】	腹部診察／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】消化器・腎臓内科学・八島 一夫
8[9/11(金)3・4時限] 【431講義室】	基本的臨床手技・感染対策／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】消化器・小児外科学・高野 周一
9[9/14(月)3・4時限] 【431講義室】	四肢と脊柱／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】整形外科学・榎田 誠
10[9/15(火)3・4時限] 【431講義室】	医療面接／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】呼吸器・膠原病内科学・山崎 章
11[9/16(水)3・4時限] 【431講義室】	神経診察／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】脳神経内科学・瀧川 洋史
12[9/17(木)3・4時限] 【431講義室】	救急／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】救急・災害医学・本間 正人
13[9/18(金)3・4時限] 【431講義室】	頭頸部診察／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：授業内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」の該当するページを熟読すること。復習：授業で学んだ内容を参考に要約すること。	【担当者】耳鼻咽喉・頭頸部外科学・小山 哲史
14[9/24(木)3・4時限]	実習第1クール ・医療面接：ETU2-5~8 ・胸部診察：S1 ・全身状態とバイタルサイン：S1 ・神経診察：S（神） ・基本的臨床手技・感染対策：SC ・頭頸部診察：S2 ・腹部診察：S3 ・四肢と脊柱：ETU3-10~13 ・救急蘇生：ETU3-5~9 各班に分かれて実習を行う。／【キーワード】臨床実習 OSCE	予習：実習内容の項目について、「臨床実習入門の手引き」を参考にイメージしておくこと。復習：各自、シミュレーションセンターの機器も活用して、繰り返し実践すること。	【担当者】手引参照・手引参照／（対面可：対面、対面不可：未定）
15[9/25(金)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
16[9/28(月)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
17[9/29(火)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
18[9/30(水)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
19[10/1(木)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
20[10/2(金)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
21[10/5(月)3・4時限]	実習第1クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
22[10/6(火)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
23[10/7(水)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
24[10/8(木)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
25[10/9(金)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
26[10/13(火)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
27[10/14(水)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
28[10/15(木)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
29[10/16(金)3・4時限]	実習第2クール・「授業計画」参照	「授業計画」参照	
30[10/19(月)3・4時限]	模擬OSCE	「授業計画」参照	
31[10/20(火)3・4時限]	模擬OSCE	「授業計画」参照	
32[10/21(水)3・4時限]	模擬OSCE	「授業計画」参照	
33[10/22(木)3・4時限]	模擬OSCE	「授業計画」参照	